

ご相談は 下記の窓口へ

お気軽にお尋ねください。

お問い合わせは
「全国防水リフレッシュ連合会」
加入各社で承ります。

快適な住まいを維持する
ために、雨漏りは早めの対策が肝心です。

「全国防水リフレッシュ連合会」会員は実績と信頼で全国各地域に根付いた防水専門の工事会社です。

「雨漏りかな」と思ったら
すぐご相談ください。

電話で状況連絡いただければ、
担当社員が調査に伺います。

全国防水リフレッシュ連合会

関東防水リフレッシュ事業協同組合	03-3882-2719
近畿防水リフレッシュ事業協同組合	06-6533-3191
リフレッシュセンター中部	052-933-4761
九州・G8リフレッシュセンター	092-451-1095
北海道防水リフレッシュセンター	011-215-1034
東北防水リフレッシュセンター	022-263-0315
中国防水リフレッシュセンター	082-541-5033
四国防水リフレッシュセンター	06-6533-3191
リフレッシュセンター北陸	052-933-4761

お近くの防水工事
会社は下記のホー
ムページから検索
できます。



<https://www.refresh.or.jp/>

※ 日新工業には防水改修のプロフェッショナルとして幅広い工法と膨大な技術の蓄積があります。ご不明な点や素朴な疑問などあればいつでもお気軽にご相談ください。

防水のことがわかるニッシン・オフィシャルサイト <https://www.nisshinkogyo.co.jp/>



総合防水材料メーカー

日新工業株式会社

TEL. 0120-86-2424

■ 本社／営業統括部 〒120-0025 東京都足立区千住東2-23-4	TEL. (03) 3882-2571
■ 関 東 TEL. (03) 3882-2641	■ 九 州 TEL. (092) 451-1095
■ 大 阪 TEL. (06) 6533-3191	■ 札 幌 TEL. (011) 215-1034
■ 名古屋 TEL. (052) 933-4761	■ 仙 台 TEL. (022) 393-7209
■ 広 島 TEL. (082) 541-5033	■ 横 浜 TEL. (045) 316-7885
■ 工 場 埼玉・山形	

Jun. 2022-1000GP

アスファルト 環境対応型防水改修工法

Environmental Compliance Asphalt Waterproof

全国防水リフレッシュ連合会

私たちにとって、建物は生活や財産を守る、安心・安全な空間です。

その建物に「雨漏り」が発生すると、室内を汚すばかりか、

住環境や美観を損ない、様々な不具合と共に建物の劣化を加速させます。

このため、建物に「雨漏り」が発生しないように、屋上等には“防水層”が施されています。

しかしながら、この防水層にも寿命があります。

防水層の改修は建物の維持管理上、必要不可欠な作業なのです。

私共『全国防水リフレッシュ連合会』は現代のニーズに合う、より適正な防水改修工法を追及し続け、

アスファルト系防水下地には同材質である環境対応型に進化した

常温アスファルト防水による改修工法をここにご提案します。

今、提案する常温アスファルト防水改修工法。

下地となる既存防水を生かし更に長期間建物を守る防水層を形成させます！

改質アスファルトを主体とした塗膜材とシート類が複合された仕様のため、耐久性に優れます。

耐久性
Durability

天然資源のアスファルトを主体とした防水材料です。火気の使用が少なく、アスファルトの臭いなどが少ない工法です。

環境対応性
Environmental compliance

施工性
Easy construction

立上りを非撤去工法や塗膜にすることも可能で、改修現場につきものの複雑部位にも容易に対応できます。

社会適応性
Social Compatiblity

既存の防水層を生かし、更に長期間使用可能な防水層を構成する工法が用意されています。

I N D E X

改修工事の手順	p.4～5
主な改修工法	p.6
その他専用工法	p.7
防水改修工事のビフォー&アフター	p.8～9
RFコート常温工法	p.10～11
RF常温粘着工法	p.12～13
RF常温粘着断熱工法	p.14～15
立上り非撤去工法について	p.16
既存防水層立上りの確認	p.17
立上り防水層非撤去(RF常温工法・RF常温粘着工法・塗膜工法)	p.18～19
立上り・架台廻り工法	p.20～21
トーチ工法(専用仕様)	p.22～23
メカトップ工法(専用仕様)	p.24～25
メンテックス工法(専用仕様)	p.26～27
プロント工法(専用仕様)	p.28～29
防滑性床材のご紹介	p.30
注意事項	p.31
技術資料	p.32～37
下地調整方法/下地調整材	p.38～39
主な使用材料/材料一覧	p.40～47
メンテナンスチェックシート	p.48

改修工事の手順（フローチャート）

防水改修のご相談は、匠の精神を持つ施工集団『全国防水リフレッシュ連合会』へ。

いざ改修工事のことを考えると、意外と知らないことばかり、特に築後10年未満のマンションは初めての経験です。

●実際に防水改修工事をする場合、どんな手順で進行するのか、一般的なケースでご紹介しましょう。



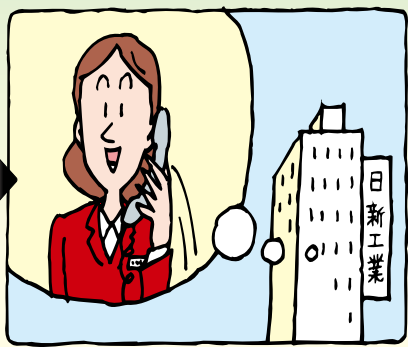
1 自主点検（屋根）

日頃から不審な箇所や水漏れ状況をこまめに見回る習慣をつけておくと、いつもと違った異変が見つかる確率も高まります。



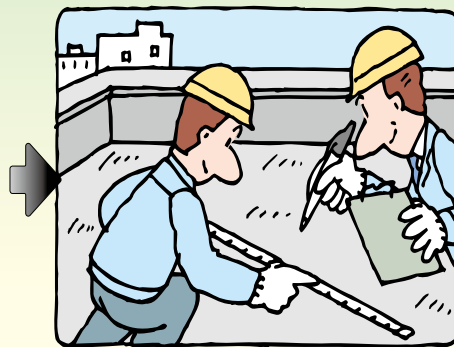
2 自主点検（室内）

天井や壁にわずかでもシミができていたら危険信号。早めに発見できれば打つ手はいろいろあります。



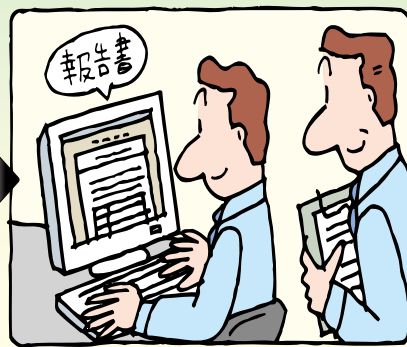
3 調査の依頼

どこかに異変を見つけたらすぐ防水の眼識を持った専門家に連絡してください。日新工業では専門スタッフが常にスタンバイしています。



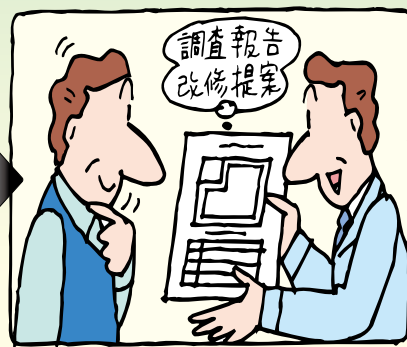
4 現地調査

現地調査には調査員が訪問します。この時、前回の防水処理をいつ、どこに、どんな工法で行ったかを伝えていただくとベターです。



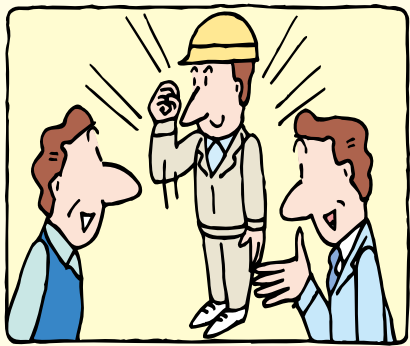
5 報告書の作成

調査員がチェックした内容を現状分析し、また次回の防水改修への参考データとして役立てます。



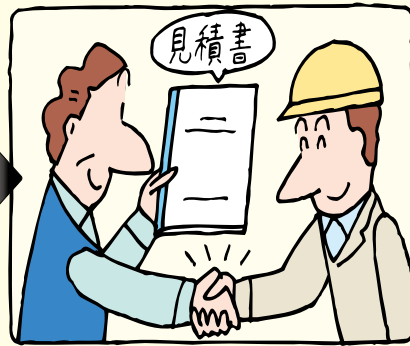
6 調査報告及び改修提案

調査の結果をわかりやすくお知らせし、また改修のプロとして最適な改修方法をご提案します。



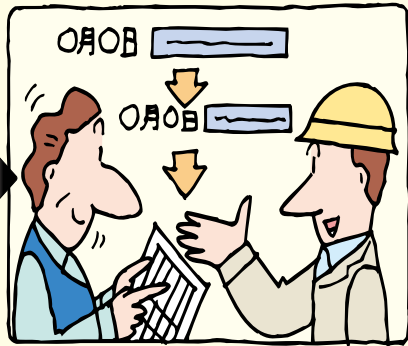
7 施工業者の選定・契約

防水工事の施工業者を選定します。日新工業には全国の優良工事店による「全国防水リフレッシュ連合会」があり、最適な業者をご紹介します。



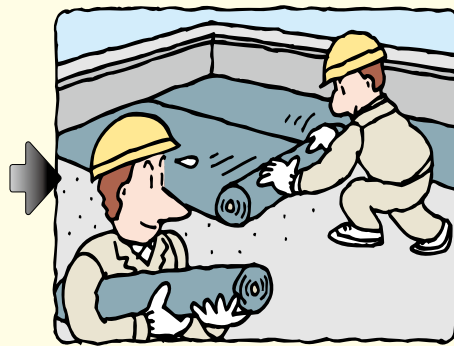
8 見積り・契約

工事にかかる総費用の見積書を作成し、契約書を交わします。



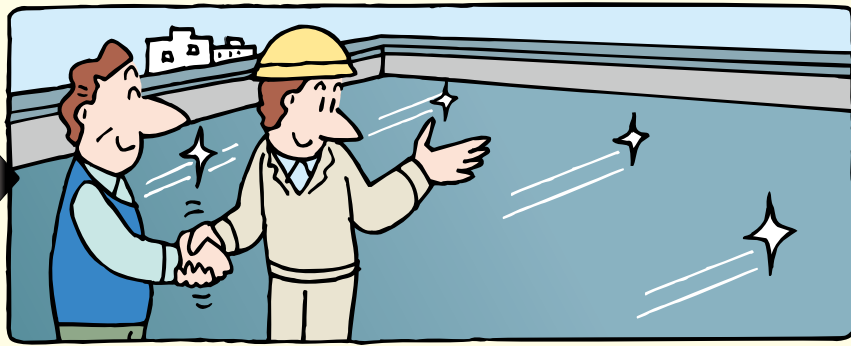
9 施工計画の作成

あらかじめ防水工事の進行を説明し、お客様にご注意いただくポイント（騒音、振動、窓の開閉など）をきちんと説明します。



10 防水工事

いよいよ施工計画にしたがって工事が開始されます。近隣に迷惑のかからぬよう注意しながら作業を行います。



11 完成・引渡し

ついに完成。今後ともより長くより快適にご使用いただくために、メンテナンス方法などについてのご説明をした上で引き渡します。

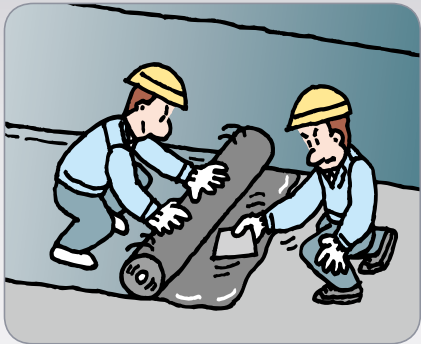
※ 防水工事は材料・工法、施工が揃ってはじめて完成します。そして、その時の雨仕舞を考慮することが重要です。防水工事は信頼できる確かな業者にご依頼ください。

主な改修工法

改修工法は、**2種類のアスファルト防水工法**と**アスファルト系塗膜防水「アスコート」**を
組み合わせた環境対応型アスファルト防水工法です。

RFコート 常温工法

p.10~11

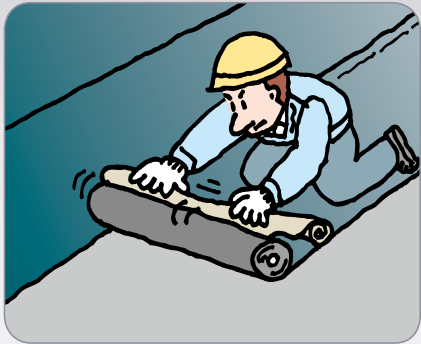


RF複合常温工法は湿気硬化型アスファルト「RFコート」を使用して積層する環境への負荷を低減させた次世代のアスファルト防水工法です。

- (施工性を大幅に向上させた)
- 「立上り塗膜タイプ」
- (熱アスファルト防水同等の防水性能を有す)
- 「シートタイプ」

RF常温 粘着工法

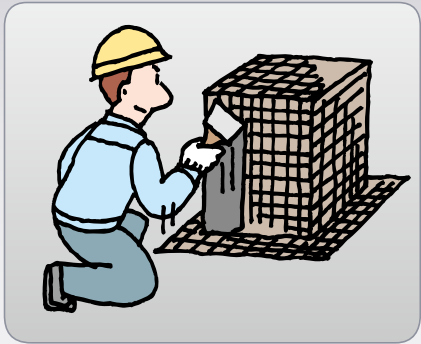
p.12~15



RF常温工法は、改質アスファルトルーフィングを、ルーフィング裏面の粘着層によって、下地に張り付ける工法です。
ルーフィング接合部を粘着+シールで処理するため、原則的に火気を使用しません。

立上り・ 架台廻り 工法

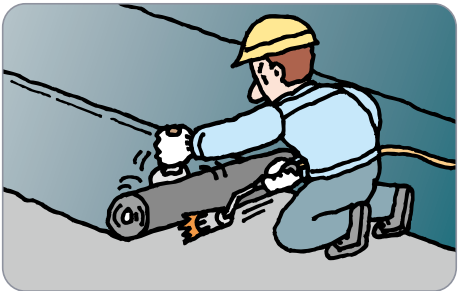
p.18~21



架台廻り工法は、湿気硬化型アスファルト「アスコート」を塗布する工法です。

その他専用工法

トーチ工法



改質アスファルトルーフィングの裏面をトーチバーナーで炙り、下地に張り付ける工法です。

p.22~23

メカトップ工法



改質アスファルトルーフィングをディスク板とアンカーピン等を用いて下地に機械的に固定する工法です。

p.24~25

メンテックス工法



改質アスファルトルーフィングとウレタンゴム系塗膜防水を併用する工法です。

p.26~27

プロント工法



高強度のウレタン防水を使用。
補強布なしで防水層を形成することができます。
主にベランダや開放廊下の側溝に使用します。

p.28~29

工法の種類

1.撤去工法（全面撤去）
既存防水層を全て撤去して、新たに施工する方法



2.撤去工法（立上りのみ撤去）
既存防水層の立上りのみ撤去して、新たに施工する方法



3.非撤去工法（平場・立上り）
既存防水層を全て残して、新たに施工する方法



4.断熱工法
断熱材が採用可能な工法



防水改修工事のビフォー＆アフター

常温積層型アスファルト防水工法

RFコート常温工法

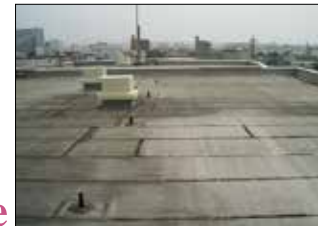
before



改質アスファルトシート防水 機械固定工法

メカトップ工法

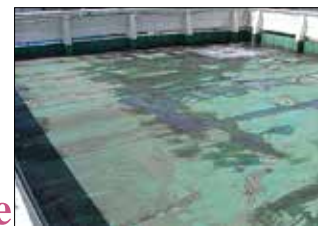
before



改質アスファルトシート+ウレタン系塗膜防水工法

メンテックス工法

before



改質アスファルトシート防水 常温工法

RF常温粘着工法

before



防滑性ビニル床シート／防滑性階段用床材

マンションの共有スペースである開放廊下や階段などに求められる、歩行安全性とデザイン性を考えたマンション専用の防滑性塩化ビニルシートです。耐久性はもちろんのこと、歩行に適した弾力性と防滑性を兼ね備えた優れた床材です。

防滑性ビニル床シート

ファインウォーク



before



防滑性階段用床材

ファインステップ



before



※ 詳細は専用カタログをご参照ください。

RFコート常温工法（屋上）

（既存が露出アスファルト防水層の場合）

湿気硬化型アスファルト「RFコート」を使用して積層するアスファルト常温防水工法です。

平面部

RC1

既存防水層
立上りのみ撤去



1	AQシーラー	
2	RFコート	1.2kg/m ²
3	CキャップK	
4	仕上塗料	
5	—	

※1. 全面撤去の場合は、マルエスシーラーをカスタムプライマー-E (0.2kg/m²) に変更します。
※2. 絶縁工法の場合は、CルーフFをCルーフSに変更します。

RC2

公共建築標準仕様
D-1 相当

既存防水層
立上りのみ撤去/全面撤去



1	マルエスシーラー※1	
2	CルーフF※2	
3	RFコート	1.2kg/m ²
4	CキャップK	
5	仕上塗料	

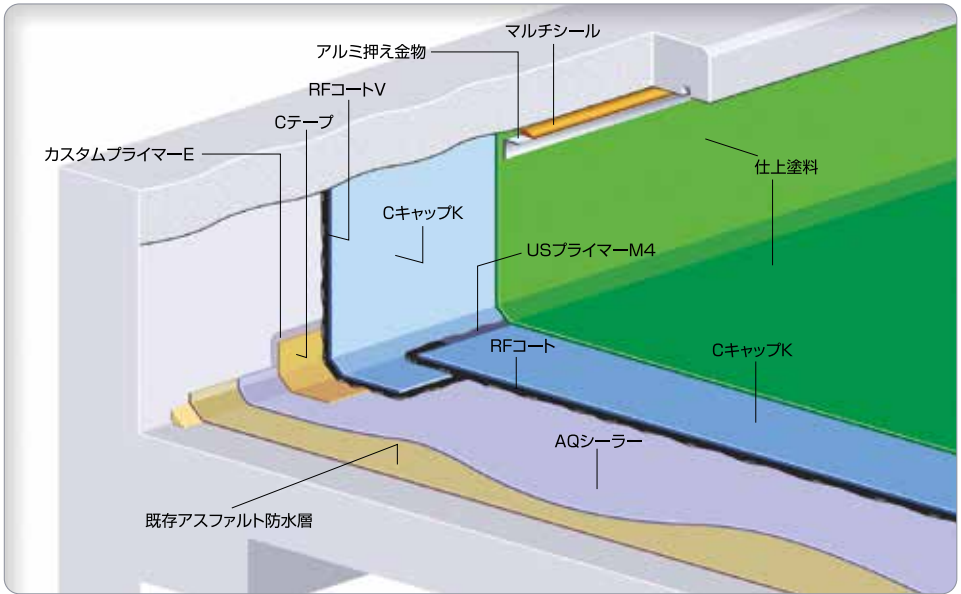
RC2D

公共建築標準仕様
DI-1 相当

既存防水層
立上りのみ撤去/全面撤去



1	USボンドA	0.8kg/m ²
2	シェーンボード	
3	CルーフS	
4	RFコート	1.2kg/m ²
5	CキャップK	
6	仕上塗料	



RC1

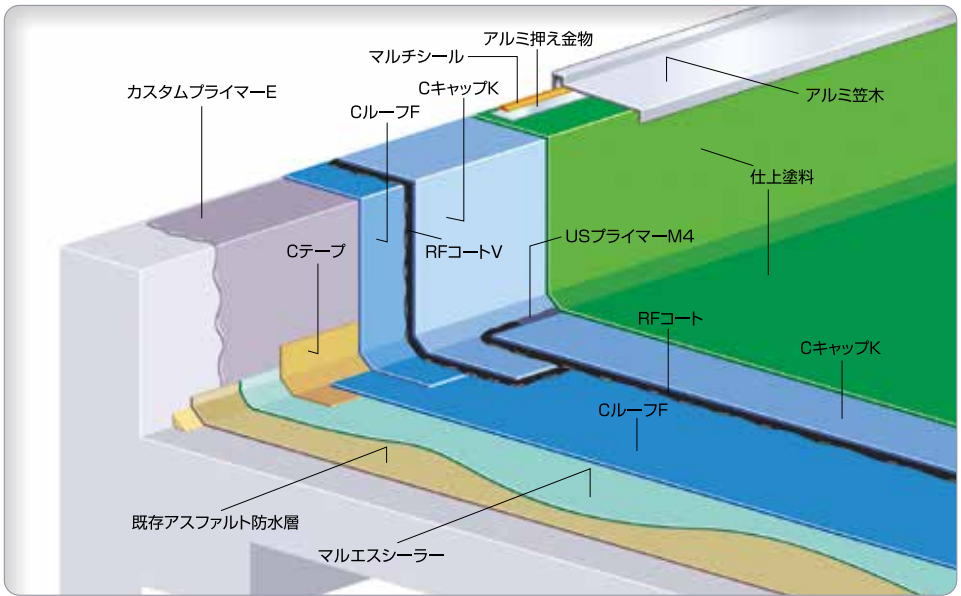
立上り部

RC1V

1	RFコートV	1.5kg/m ²
2	CキャップK	
3	仕上塗料	
4	—	
5	—	

RC2V

1	カスタムプライマー-E	0.2kg/m ²
2	CルーフF	
3	RFコートV	1.5kg/m ²
4	CキャップK	
5	仕上塗料	



RC2

マルエスシーラー・AQシーラーの塗布量

下地の状態によって塗布量は、下記の範囲内とします。

製品名	マルエスシーラー	AQシーラー
塗布量	0.8kg~1.2kg/m ²	1.0kg~2.0kg/m ²

仕上塗料

製品名	プレノカラー遮熱	サーモロックカラー-MB※	FPクール※	ハイクール
仕様記号	NZ	MB	FP	H
種類	カラー遮熱	暗色系カラー遮熱	飛び火抑制・遮熱	高耐候性遮熱
塗布量の目安	0.5kg/m ²	0.5kg/m ²	0.8kg/m ²	0.5kg/m ²
塗替の目安	7~9年	7~9年	10~13年	10~13年

※受注生産品

■弊社製品以外の仕上塗料を塗布した場合は、不具合の発生の恐れがある為、ご注意ください。

注意事項

- RFコートはみ出し部には、必ずUSプライマー-M4 (0.1kg/m²) を塗布乾燥後、翌日以降に仕上塗料を塗布してください。（翌日以降に施工しないとブリードする恐れがあります）
- 気象条件や施工条件によっては、カスタムプライマー-Eに替えて、カスタムプライマーを使用することもできます。
- 気象条件や施工条件によっては、マルチシールに替えて、USボンドAを使用することもできます。
- 絶縁工法には「ニューステンレスベント」を使用した脱気工法の採用をお勧めします。（50~100m²に1箇所程度）

RF常温粘着工法（屋上）

（既存が露出アスファルト防水層の場合）

改質アスファルトルーフィングを、裏面の粘着層によって張り付ける工法です。

平面部

RN1 公共建築標準仕様 AS-J2 相当

既存防水層
立上りのみ撤去



- 1 マルエスシーラー
- 2 NサンドAF※3
- 3 仕上塗料
- 4 —

※1. 防水層撤去の場合は、マルエスシーラーをカスタムプライマーE (0.2kg/m²) に変更します。
※2. 絶縁工法の場合は、NルーフFをNルーフSに変更します。
※3. NサンドAFをNサンドUFに替えることもできます。その際は、仕様記号の末尾にFを付けます。

RN2 公共建築標準仕様 AS-J1 相当

既存防水層
立上りのみ撤去/全面撤去



- 1 マルエスシーラー※1
- 2 NルーフF※2
- 3 NサンドAF※3
- 4 仕上塗料

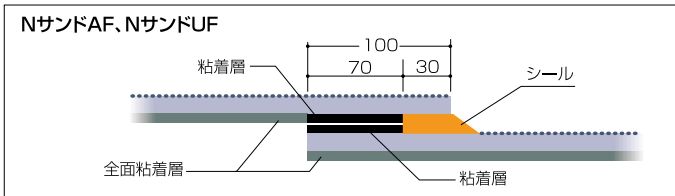
立上り部

RN1V

- 1 カスタムプライマーE 0.2kg/m²
- 2 NサンドUF
- 3 仕上塗料
- 4 —

※ NサンドAFをNサンドUFに替えることもできます。その際は、仕様記号の末尾にFを付けます。

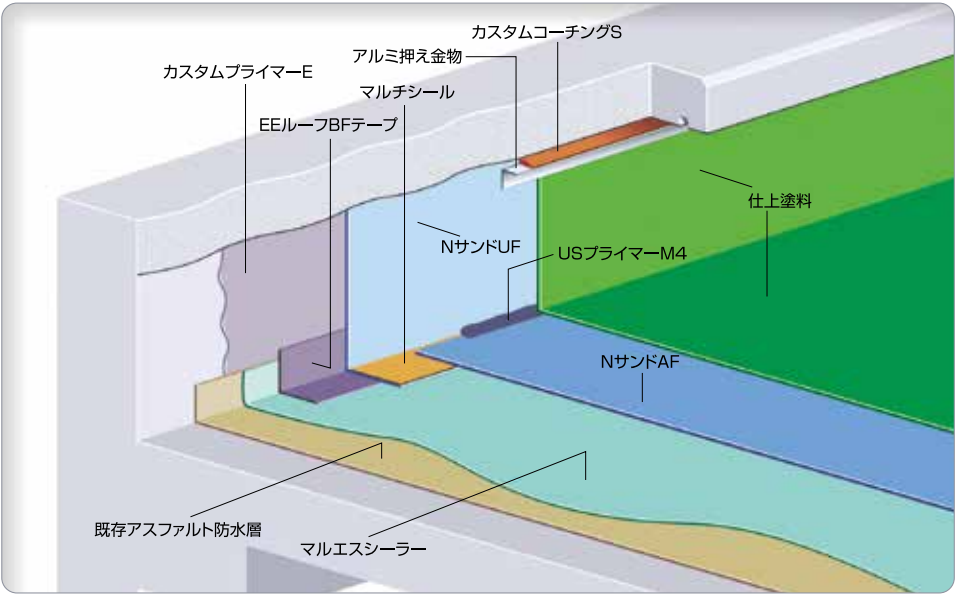
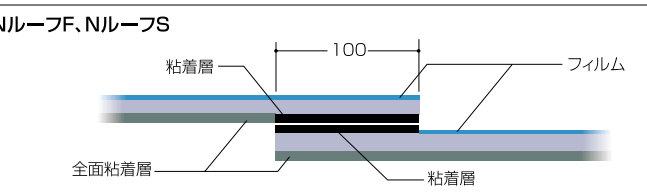
ルーフィングの長辺ジョイント形状（短辺ジョイント形状は、p.14をご参照ください。）



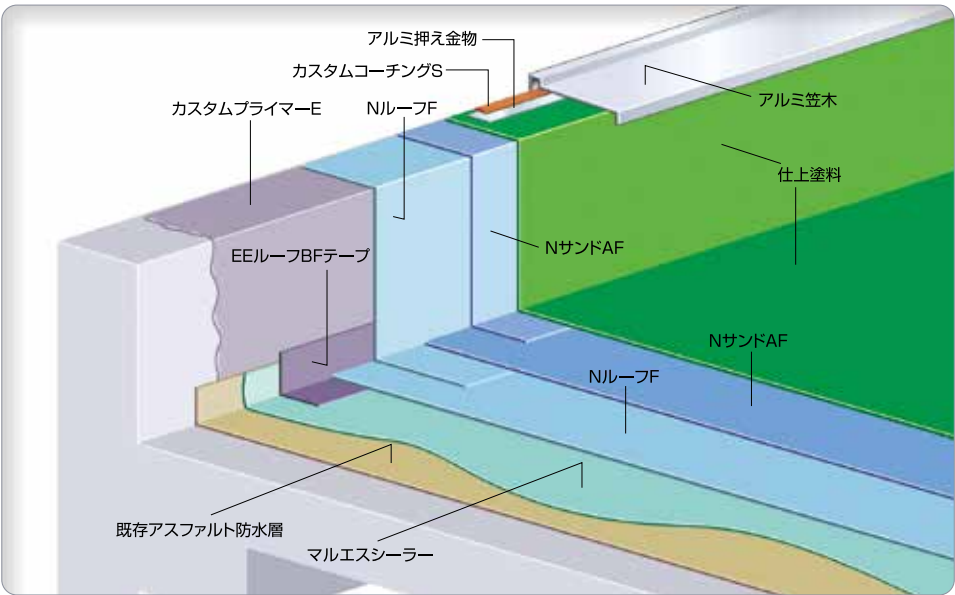
※ トーチバーナーを使用することもできます。（トーチ併用の場合）

RN2V

- 1 カスタムプライマーE 0.2kg/m²
- 2 NルーフF
- 3 NサンドAF※
- 4 仕上塗料



RN1



RN2

（トーチ併用の場合）

注意事項

- NサンドAF、NサンドUFのサイドラップは、マルチシールを充填し、転圧して密着してください。
- マルチシールはみ出し部には、必ずUSプライマーM4 (0.1 kg/m²) を塗布乾燥後、翌日以降に仕上塗料をしてください。（翌日以降に施工しないとブリードする恐れがあります）
- NルーフS、NサンドAF、NサンドUFのエンドラップには、マルチシールを充填し、転圧して密着してください。
- 状況によっては、バーナーで施工することもできます。
- 気象条件や施工条件によっては、カスタムプライマーEに替えて、カスタムプライマーを使用することもできます。
- 絶縁工法には「ニューステンレスベント」を使用した脱気工法の採用をお勧めします。（50～100m²に1箇所程度）

※ 受注生産品
■ 弊社製品以外の仕上塗料を塗布した場合は、不具合の発生の恐れがある為、ご注意ください。

RF常温粘着断熱工法（屋上）

（既存が露出アスファルト防水層の場合）

改質アスファトルーフingを、裏面の粘着層によって張り付ける断熱工法です。

平面部

RN1D

既存防水層
立上りのみ撤去



1	USボンドA	0.8kg/m ²
2	シェーンボード	
3	NサンドUF	
4	仕上塗料	
5	—	

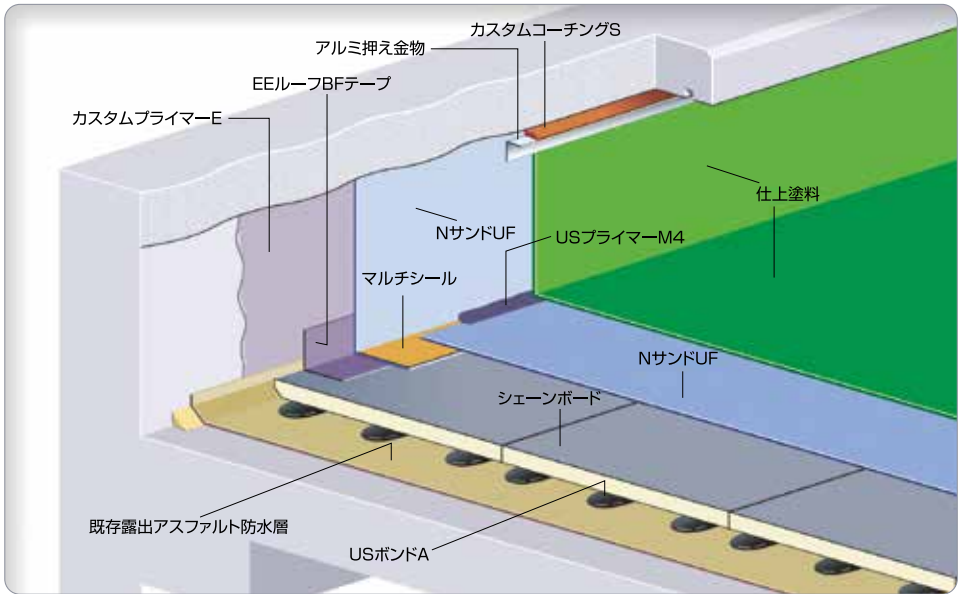
RN2D 公共建築標準仕様 ASI-J1 相当

既存防水層
立上りのみ撤去／全面撤去



1	USボンドA	0.8kg/m ²
2	シェーンボード	
3	NルーFS	
4	NサンドAF*	
5	仕上塗料	

※ NサンドAFをNサンドUFに替えることもできます。その際は、仕様記号の末尾にFを付けます。



RN1D

立上り部

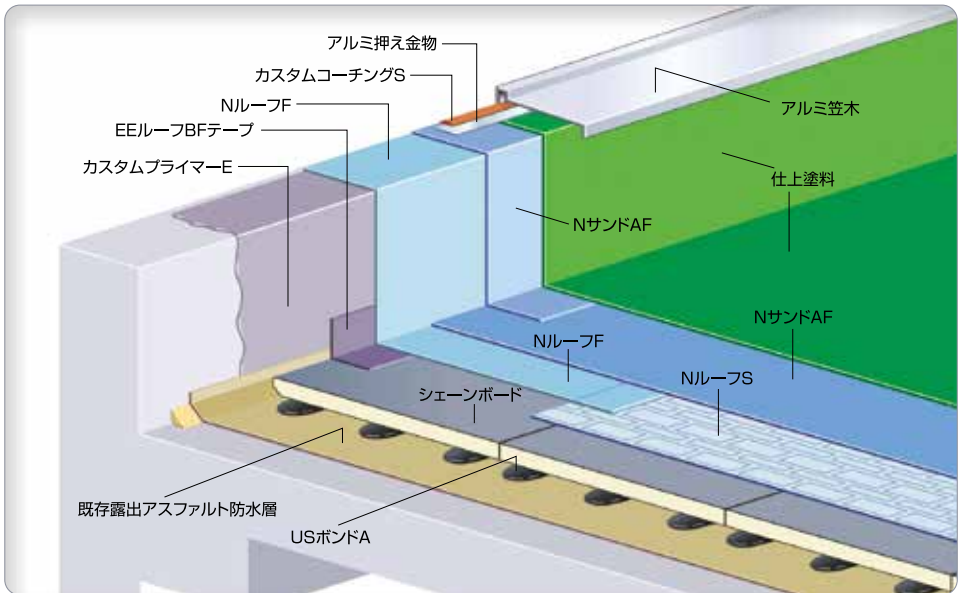
RN1V

1	カスタムプライマーE	0.2kg/m ²
2	NサンドUF	
3	仕上塗料	
4	—	

RN2V

1	カスタムプライマーE	0.2kg/m ²
2	NルーF	
3	NサンドAF*	
4	仕上塗料	

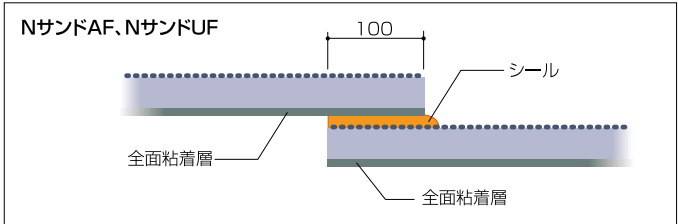
※ NサンドAFをNサンドUFに替えることもできます。その際は、仕様記号の末尾にFを付けます。



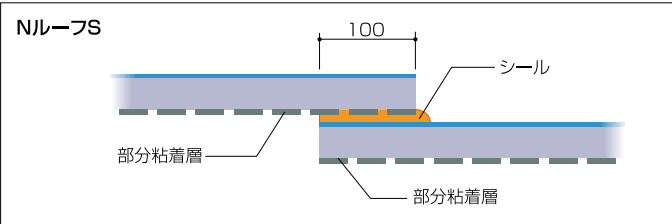
RN2D

（トーチ併用の場合）

ルーフィングの短辺ジョイント形状



※ トーチバーナーを使用することもできます。（トーチ併用の場合）



※ トーチバーナーを使用することもできます。（トーチ併用の場合）
● NルーFは、粘着層で張付けます。

仕上塗料

製品名	ブレノカラー遮熱	サーモロックカラーMB*	FPクール*	ハイクール
仕様記号	NZ	MB	FP	H
種類	カラー遮熱	暗色系カラー遮熱	飛び火抑制・遮熱	高耐候性遮熱
塗布量の目安	0.5kg/m ²	0.5kg/m ²	0.8kg/m ²	0.5kg/m ²
塗替の目安	7～9年	7～9年	10～13年	10～13年

※ 受注生産品

■ 弊社製品以外の仕上塗料を塗布した場合は、不具合の発生の恐れがある為、ご注意ください。

注意事項

- NサンドAF、NサンドUFのサイドラップは、マルチシールを充填し、転圧して密着してください。
- マルチシールはみ出し部には、必ずUSプライマーM4 (0.1kg/m²) を塗布乾燥後、翌日以降に仕上塗料をしてください。（翌日以降に施工しないとブリードする恐れがあります）
- NルーFS、NサンドAF、NサンドUFのエンドラップには、マルチシールを充填し、転圧して密着してください。
- 状況によっては、バーナーで施工することもできます。
- 気象条件や施工条件によっては、カスタムプライマーEに替えて、カスタムプライマーを使用することもできます。
- 絶縁工法には「ニューステンレスペント」を使用した脱気工法の採用をお勧めします。（50～100m²に1箇所程度）

立上り非撤去工法について

既存露出アスファルト防水の改修工事は、平場を残して立上りを撤去することが基本です。

しかし、シート防水では、既存露出アスファルト防水の平場及び立上りの防水層を撤去しないで、機械固定工法によって、新規防水層を被せているケースもあります。又、塗膜防水でも既存露出アスファルト防水層の上に下地処理をして、塗膜防水で被せているケースもありますが、既存アスファルト露出防水を撤去（条件つき）せず同質系のアスファルトで改修する工法をここにご提案します。

建物によっては、防水層の状態が健全な場合もあり、必ずしも防水層を撤去しなければならないとは限りません。この場合、防水層の端部等の納まり具合を十分検討することが重要です。

立上りを撤去しないメリットとしては、立上りの撤去による施工中の漏水事故の危険性の低減また、立上り防水層撤去後に発生する産業廃棄物の抑制、及び廃材処理費・労務費の削減効果が期待できます。

アスファルト防水の信頼性

最も古くから用いられ、実績も多く、信頼性の高い防水材料がアスファルト防水です。しかし、近年環境面よりアスファルト防水が敬遠される傾向にある中、より環境に配慮した新しいアスファルトを中心とした工法が確立しています。

劣化が進んでいない防水層を再利用する。

改修時には概ね立上り防水層を撤去しますが、防水層もまた建物の一部であり、所有者の財産の一部でもあります。財産を有効に使用することは、建物そのものの価値を向上させることにもなります。又、既存の防水層に新たに防水層を重ねることにより、耐久性の向上が見込まれ、建物の長寿命化にも有効です。

同質材料による改修

防水材料にも相性があります。**同質の材料で改修を行うことにより、物性の安定や作業性、信頼性を確保できます。** 永く建物を支えた防水層が経年と共に劣化する中で、新たに同質の材料で補修を行うことで防水性能だけでなく建物の寿命を延ばします。

現代の改修工法に求められる多くの要素を兼ね備えた非撤去工法には大きなメリットが望めます。

既存防水層立上りの確認

建物診断時に立上り非撤去とするための確認部位

防水層の浮き



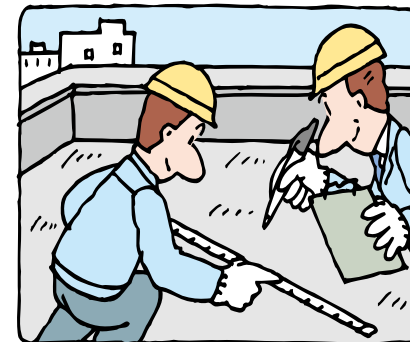
防水層の破断・損傷



立上り出入隅の浮き

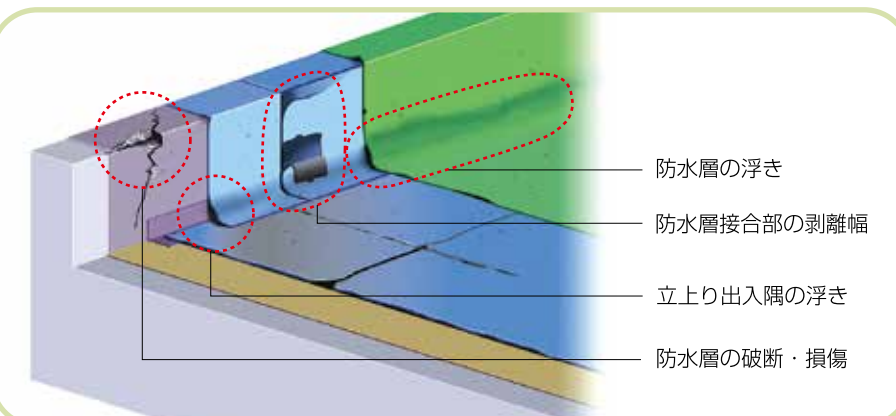


防水層接合部の剥離幅



※調査には必ずメーカー及び会員が立ち会うものとします。

建物によって納まりが異なりますのであくまでも目安といたします。
調査に関し不明の場合は、メーカー及び会員にご確認ください。



立上り防水層非撤去

RF常温工法

湿気硬化型アスファルト「RFコート」を使用して積層するアスファルト常温防水工法です。

平面部

RC1

既存防水層
非撤去・砂付ルーフィング仕上げ



- 1 AQシーラー
- 2 RFコート 1.2kg/m²
- 3 CキャップK
- 4 仕上塗料

立上り部

RC1VN

砂付ルーフィング仕上げ

- 1 AQシーラー
- 2 RFコートV 1.5kg/m²
- 3 CキャップK
- 4 仕上塗料

マルエスシーラー・AQシーラーの塗布量
下地の状態によって塗布量は、下記の範囲内とします。

製品名	マルエスシーラー	AQシーラー
塗布量	0.8kg～1.2kg/m²	1.0kg～2.0kg/m²

仕上塗料

製品名	ブレノカラー遮熱	サーモロックカラーMB*	FPクール*	ハイクール
仕様記号	NZ	MB	FP	H
種類	カラー遮熱	暗色系カラー遮熱	飛び火抑制・遮熱	高耐候性遮熱
塗布量の目安	0.5kg/m²	0.5kg/m²	0.8kg/m²	0.5kg/m²
塗替の目安	7～9年	7～9年	10～13年	10～13年

RF常温粘着工法

改質アスファルトルーフィングを、裏面の粘着層によって張り付ける工法です。

平面部

RN1

既存防水層
非撤去・砂付ルーフィング仕上げ



- 1 マルエスシーラー
- 2 NサンドAF※1
- 3 仕上塗料

※1. NサンドAFをNサンドUFに替えることもできます。その際は、仕様記号の末尾にFを付けます。

立上り部

RN1VN

砂付ルーフィング仕上げ

- 1 マルエスシーラー
- 2 NサンドAF※2
- 3 仕上塗料

※2. NサンドAFをNサンドUFに替えることもできます。その際は、仕様記号の末尾にFを付けます。

塗膜工法

湿気硬化型アスファルト「アスコート」を使用して、塗膜防水で改修する工法です。

立上り部

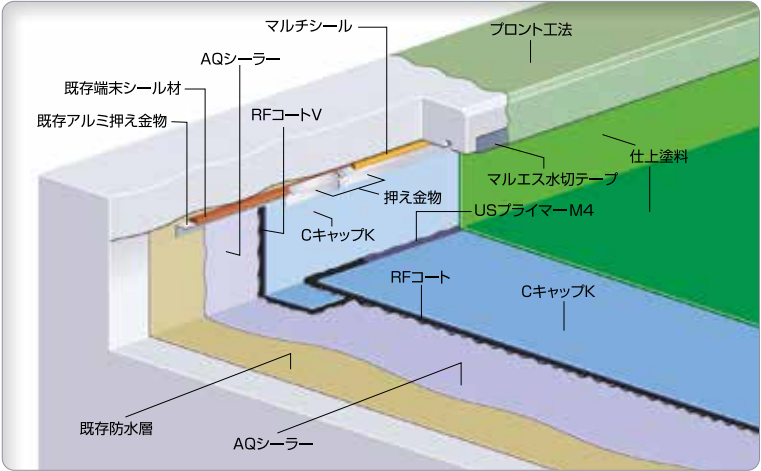
RACN

立上り非撤去の場合

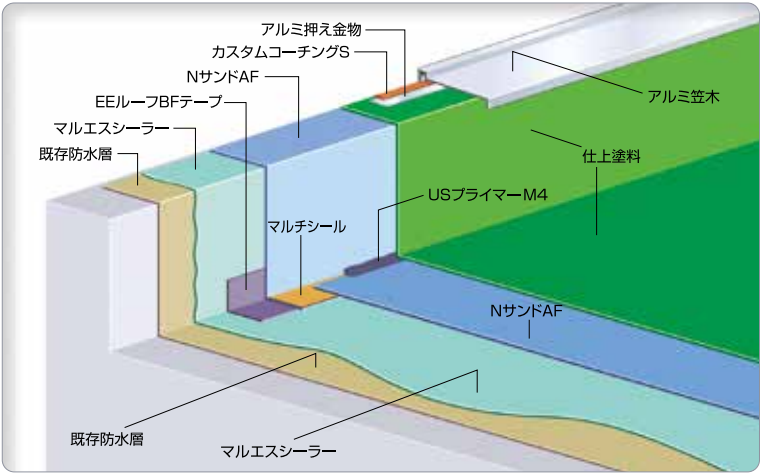
- 1 アスコート(入隅部増塗り) 0.3kg/m²
- 2 クロスK張付け(入隅部増張り)
- 3 アスコート 1.0kg/m²
- 4 クロスK張付け
- 5 アスコート 1.0kg/m²
- 6 アスコート 1.0kg/m²
- 7 USプライマーM4 0.1kg/m²
- 8 仕上塗料

※ 立上り非撤去の場合、平面部の仕様は、どれでも対応できます。
※ 下地の状況により、塗布量が増える場合があります。

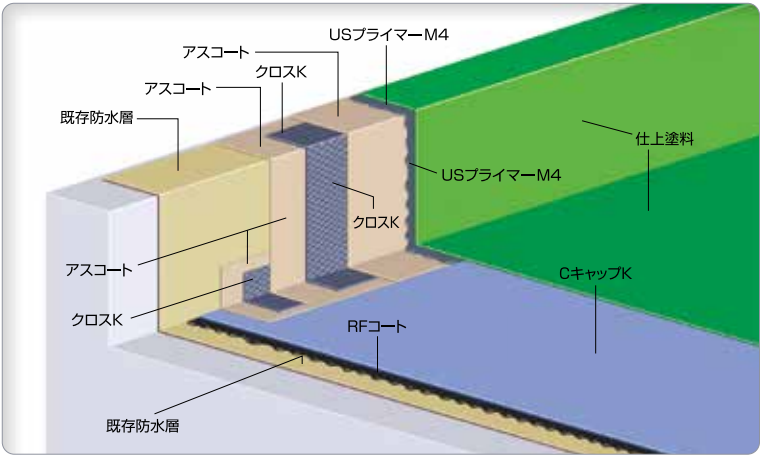
※ 受注生産品
■ 弊社製品以外の仕上塗料を塗布した場合は、不具合の発生の恐れがある為、ご注意ください。



RC1



RN1



RACN

注意事項

- RFコートはみ出し部には、必ずUSプライマーM4(0.1kg/m²)を塗布乾燥後、翌日以降に仕上塗料を塗布してください。(翌日以降に施工しないとブリードする恐れがあります)
- 絶縁工法には「ニューステンレスベント」を使用した脱気工法の採用をお勧めします。(50～100m²に1箇所程度)
- 既存防水層の状態により、立上りにアスコートを塗る前にAQシーラーやプライマーC10を塗布することもできます。
- NサンドAF、NサンドUFのエンドラップには、マルチシールを充填し、転圧して密着してください。
- 状況によっては、バーナーで施工することもできます。
- 立上りに浮きがある場合は、切開し炙り戻します。場合により、ディスク固定を行うことも可能です。
- トーチ工法を採用する場合は、既存金物を撤去してください。

立上り・架台廻り工法

改修部分に設備架台がある場合や、ルーフィング類の施工が難しい場合に、
湿気硬化型アスファルト「アスコート」を使用して、塗膜防水で改修する工法です。

RAC 立上り撤去の場合



1	アスコート(入隅部増塗り)	0.3kg/m ²
2	クロスK張付け(入隅部増張り)	
3	アスコート	1.0kg/m ²
4	クロスK張付け	
5	アスコート	1.0kg/m ²
6	アスコート	1.0kg/m ²
7	USプライマーM4	0.1kg/m ²
8	仕上塗料	

作業手順



1. アスコート



2. クロスKの張付け



3. アスコートを塗布



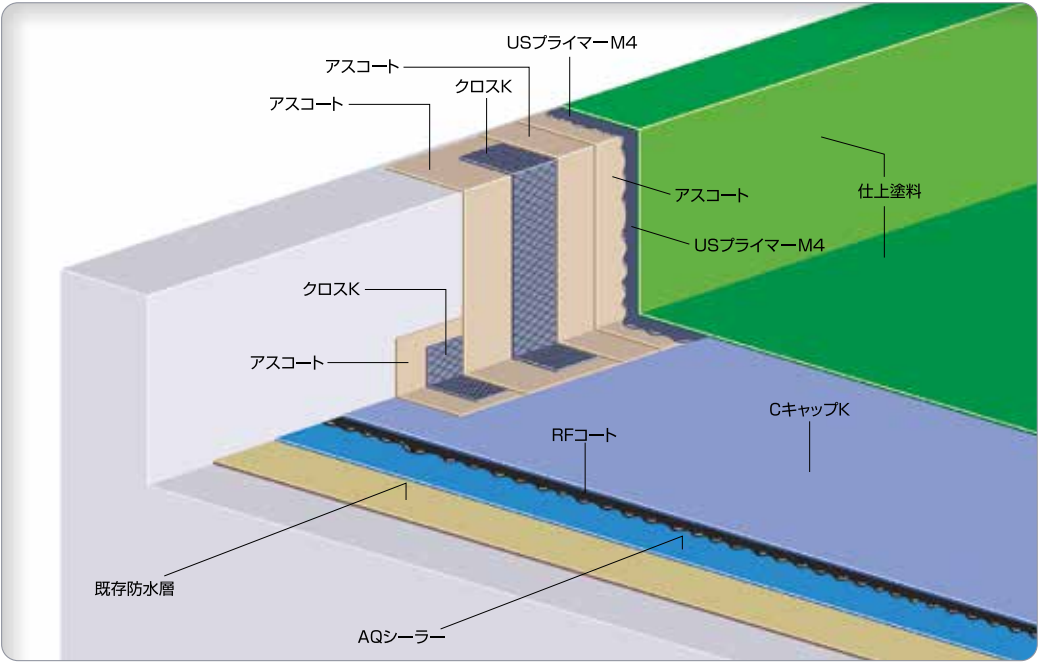
4. 塗布終了

仕上塗料

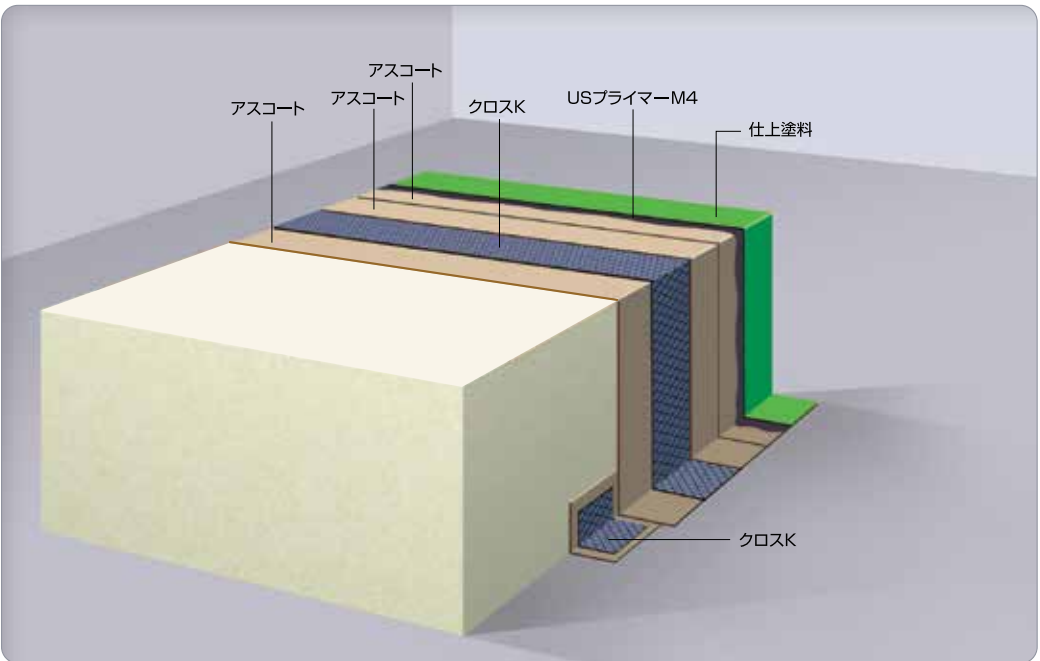
製品名	ブレノカラー遮熱	サーモロックカラーMB*	FPクール*	ハイクール
仕様記号	NZ	MB	FP	H
種類	カラー遮熱	暗色系カラー遮熱	飛び火抑制・遮熱	高耐候性遮熱
塗布量の目安	0.5kg/m ²	0.5kg/m ²	0.8kg/m ²	0.5kg/m ²
塗替の目安	7～9年	7～9年	10～13年	10～13年

※受注生産品

■弊社製品以外の仕上塗料を塗布した場合は、不具合の発生の恐れがある為、ご注意ください。



RAC



架台廻り

専用仕様
トーチ工法（屋上）

改質アスファルトルーフィングをトーチバーナーで施工する工法です。

平面部

RT1

公共建築標準仕様
AS-T2 相当

既存防水層
立上りのみ撤去

撤去

立上り

1

マルエスシーラー

2

TキャップF

3

仕上塗料

4

—

RT2

立上り撤去/全面撤去

撤去

立上り

撤去

全面

1

マルエスシーラー※1

2

Tルーフ※2

3

TキャップA※3

4

仕上塗料

※1.

防水層撤去の場合は、マルエスシーラーをプライマーAQ (0.2kg/m²) に変更します。

※2.

絶縁工法の場合は、TルーフをTルーフSに変更します。

※3.

TキャップAは、TキャップFを使用することもできます。その際は、仕様記号の末尾にFを付けます。

RT2D

立上り撤去/全面撤去

撤去

立上り

撤去

全面

断

1

USボンドA 0.8kg/m²

2

シェーンボード

3

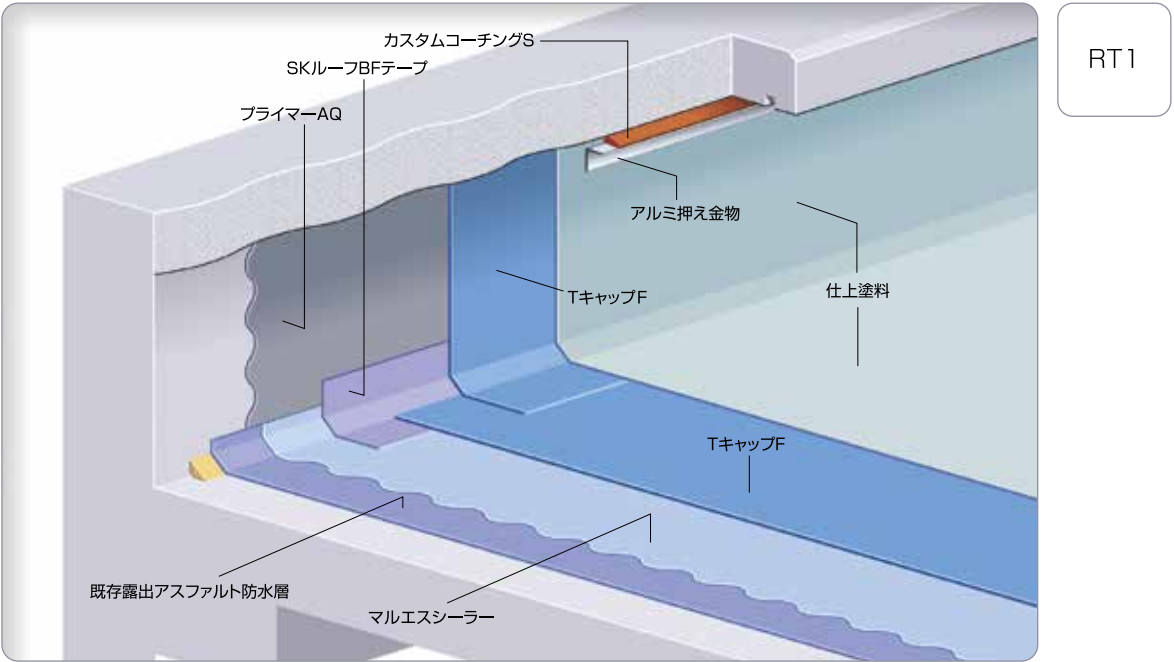
TルーフS

4

TキャップA※3

5

仕上塗料



RT1

立上り部

RT1V

1 プライマーAQ 0.2kg/m²

2

TキャップF

3

仕上塗料

4

—

RT2V

1 プライマーAQ 0.2kg/m²

2

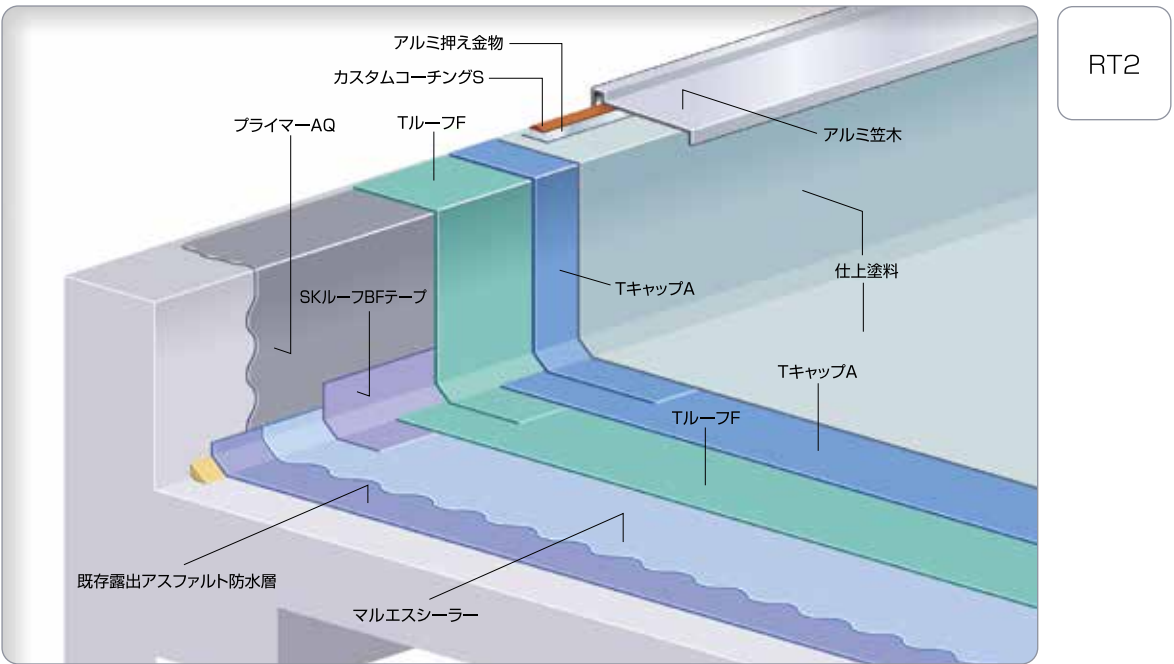
Tルーフ

3

TキャップA※3

4

仕上塗料



RT2

マルエスシーラーの塗布量

下地の状態によって塗布量は、下記の範囲内とします。

塗布量	0.8kg～1.2kg/m ²
-----	----------------------------

仕上塗料

製品名	プレノカラー遮熱	サーモロックカラーMB※	FPクール※	ハイクール
仕様記号	NZ	MB	FP	H
種類	カラー遮熱	暗色系カラー遮熱	飛び火抑制・遮熱	高耐候性遮熱
塗布量の目安	0.5kg/m ²	0.5kg/m ²	0.8kg/m ²	0.5kg/m ²
塗替の目安	7～9年	7～9年	10～13年	10～13年

※受注生産品

■弊社製品以外の仕上塗料を塗布した場合は、不具合の発生の恐れがある為、ご注意ください。

専用仕様 メカトップ工法（屋上）

改質アスファルトルーフィングをディスク板とアンカーピン等を用いて下地に機械固定する工法です。

平面部

RM1

**既存防水層
立上りのみ撤去**



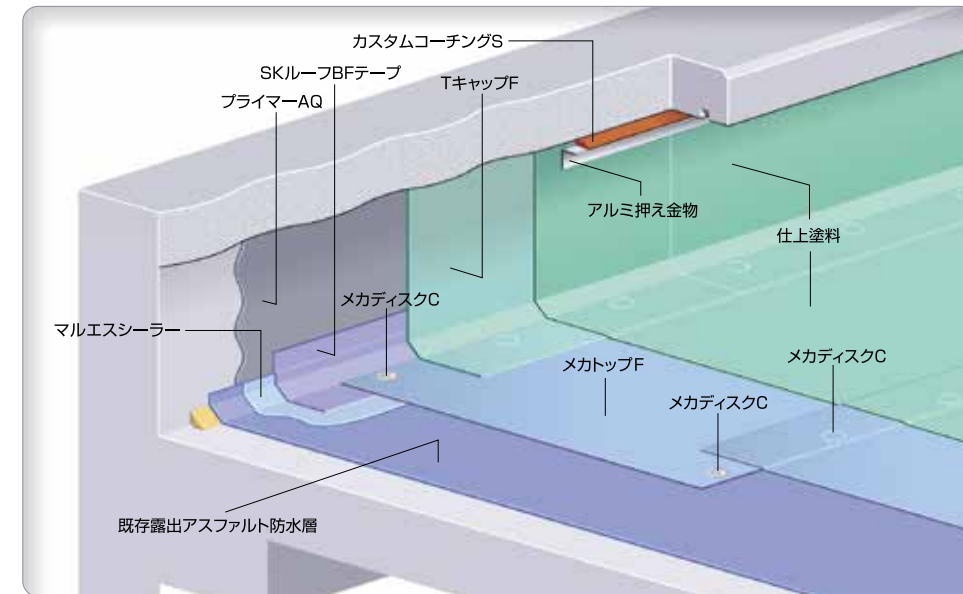
- | | |
|---|--------------------|
| ① | メカトップF（機械固定とトーチ併用） |
| ② | 仕上塗料 |
| ③ | — |

RM2

**既存防水層
立上り撤去／全面撤去**



- 1 RFメカアンダー（機械固定とトーチ併用）
- 2 TキャップA
- 3 仕上塗料



RM1

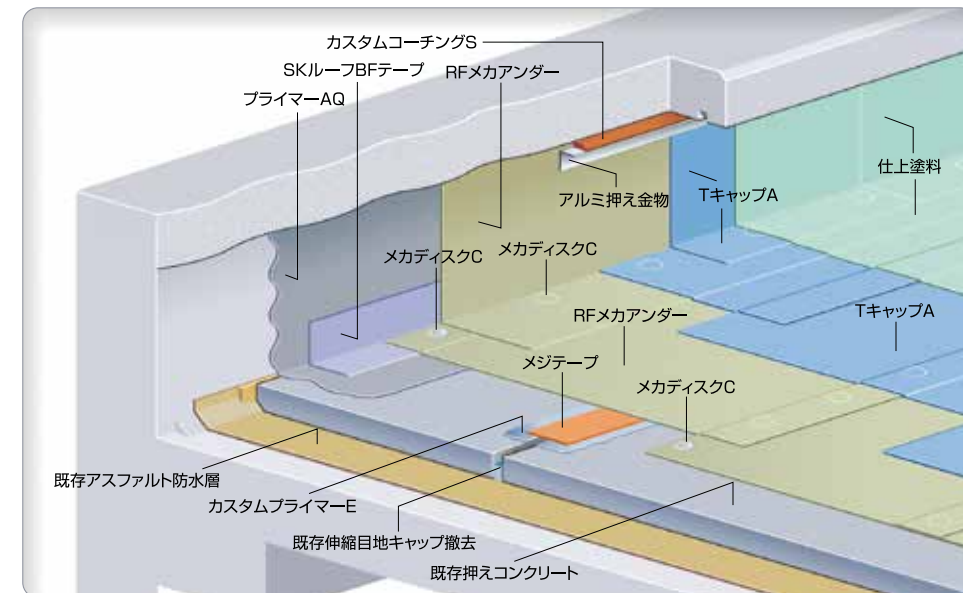
立上り部

RM1V

- | | | |
|---|---------|----------------------|
| 1 | プライマーAQ | 0.2kg/m ² |
| 2 | TキャップF | |
| 3 | 仕上塗料 | |
| 4 | — | |

RM2V

- | | | |
|---|----------|----------------------|
| 1 | プライマーAQ | 0.2kg/m ² |
| 2 | RFメカアンダー | |
| 3 | TキャップA | |
| 4 | 仕上塗料 | |



RM2

■ 仕上塗料

製 品 名	ブレノカラー遮熱	サーモロックカラーMB*	FPクール*	ハイクール
仕 様 記 号	NZ	MB	FP	H
種 類	カラー遮熱	暗色系カラー遮熱	飛び火抑制・遮熱	高耐候性遮熱
塗布量の目安	0.5kg/㎡	0.5kg/㎡	0.8kg/㎡	0.5kg/㎡
塗替の目安	7～9年	7～9年	10～13年	10～13年

※受注生産品

■弊社製品以外の仕上塗料を塗布した場合は、不具合の発生の恐れがある為、ご注意ください。

注意事項

- 入隅部には、幅200mmのSKルーフBFテープを増し張りします。
- 立上りは、TキャップAに替えてメカトップFを使用することもできます。
その際は、仕様記号の末尾にFを付けます。
- メカディスクCは重ね部のみに固定します。
- 気象条件や施工条件によっては、プライマーAQIに替えて、アスファルトプライマーを使用することもできます。

専用仕様

メンテックス工法（屋上・ルーフバルコニー）

改質アスファルトルーフィングとウレタンゴム系塗膜防水を併用する工法です。

平面部

MTF

既存防水層
立上り撤去

撤
立上り

1	マルエスシーラー	
2	メンテックスF	
3	MXテープ（ジョイント処理）	
4	MTコート	1.5kg/m ²
5	MTコート	1.5kg/m ²
6	MTトップコート	0.2kg/m ²

MTS

既存防水層
全面撤去

撤
全面

1	USプライマーC1	0.2kg/m ²
2	メンテックスS	
3	MXテープ（ジョイント処理）	
4	MTコート	1.5kg/m ²
5	MTコート	1.5kg/m ²
6	MTトップコート	0.2kg/m ²

立上り部

MTV

既存防水層
立上り撤去

撤
立上り

1	USプライマーC1※	0.2kg/m ²
2	MTコートV	0.4kg/m ²
3	クロスK	
4	MTコートV	1.1kg/m ²
5	MTコートV	1.1kg/m ²
6	MTトップコート	0.2kg/m ²

※ ピンホール発生の懸念がある場合は、USプライマーC10（USプライマーC1とポルトランドセメントを1：0.5～1の割合で混合したもの）を使用してください。

■ MTトップコートの色相

ライトグレー

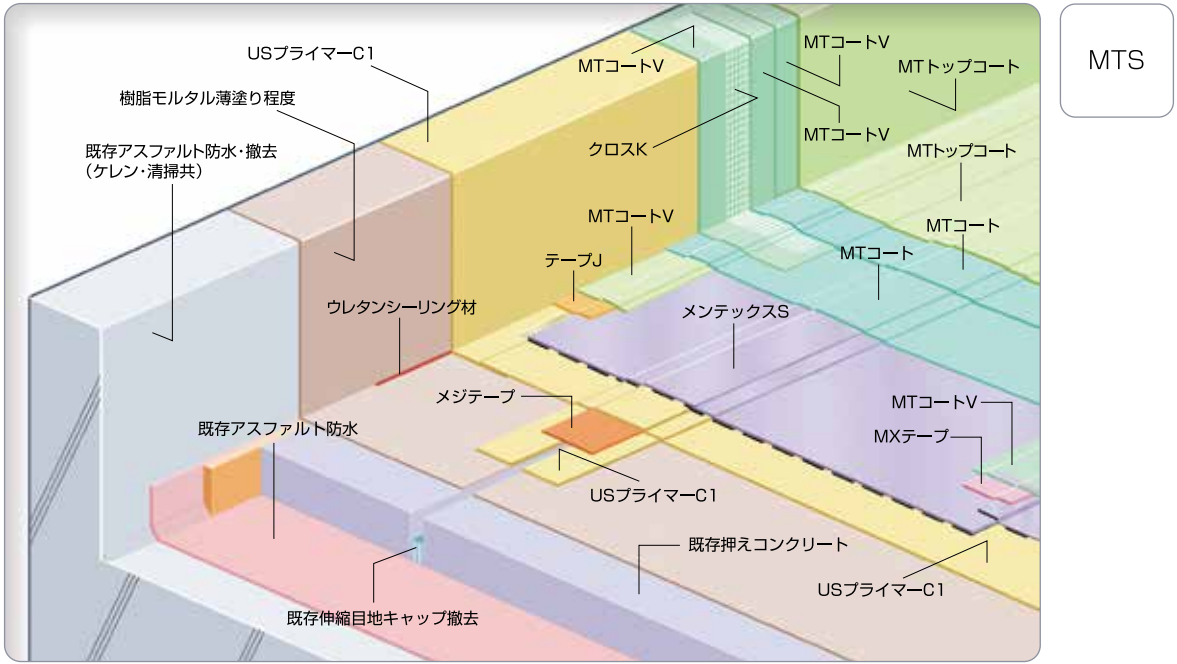
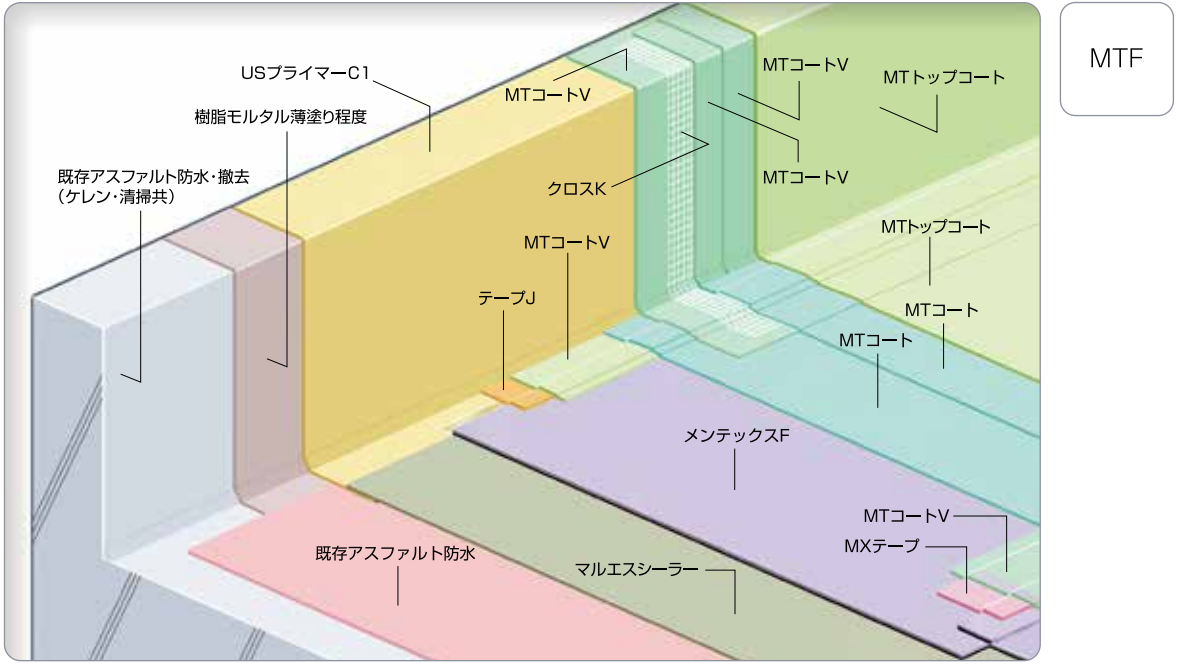
グレー

グリーン

■ マルエスシーラーの塗布量

下地の状態によって塗布量は、下記の範囲内とします。

塗 布 量	0.8kg～1.2kg/m ²
-------	----------------------------



専用仕様

プロント工法 (ベランダ・開放廊下・庇・パラペット用)

高強度のウレタン防水を使用していますので、補強布なしで防水層を形成することができます。

平面部

PR1

(下地：既存コンクリート)

撤

全面

1	USプライマーC10※1	0.2kg/m ²
2	PRコートB	1.0kg/m ²
3	PRコートS	1.5kg/m ²
4	MTトップコート	0.2kg/m ²

PR2

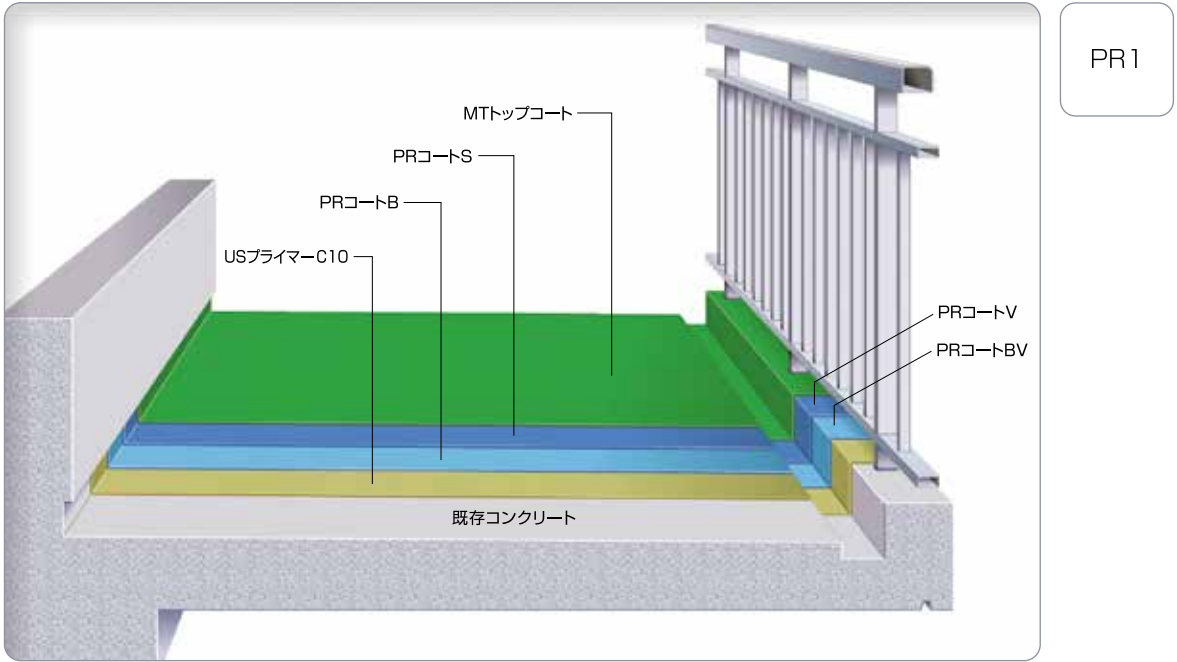
(下地：既存ウレタン防水層)

撤

立上り

1	USプライマーM4	0.1kg/m ²
2	PRコートB	1.0kg/m ²
3	PRコートS	1.5kg/m ²
4	MTトップコート	0.2kg/m ²

※1. USプライマーC10は、USプライマーC1とポルトランドセメントを1：0.5～1の割合で混合したものです。



立上り部

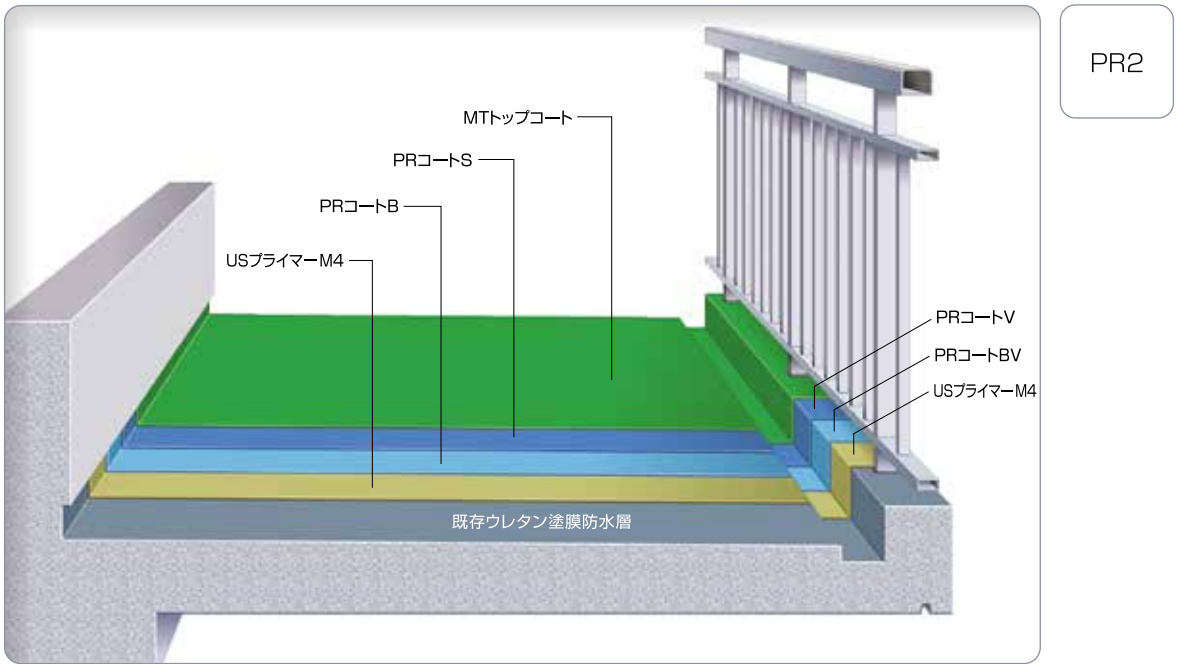
PR1V

1	USプライマーC10※1	0.2kg/m ²
2	PRコートBV	1.0kg/m ²
3	PRコートV	1.0kg/m ²
4	MTトップコート	0.2kg/m ²

PR2V

1	USプライマーM4	0.1kg/m ²
2	PRコートBV	1.0kg/m ²
3	PRコートV	1.0kg/m ²
4	MTトップコート	0.2kg/m ²

※1. USプライマーC10は、USプライマーC1とポルトランドセメントを1：0.5～1の割合で混合したものです。



■ MTトップコートの色相

ライトグレー

グレー

グリーン

防滑性床材（ファインウォーク）のご紹介

マンション等の解放廊下・バルコニーに適した防滑性床材です。
「高強度ウレタン塗膜防水工法」と併用することができます。

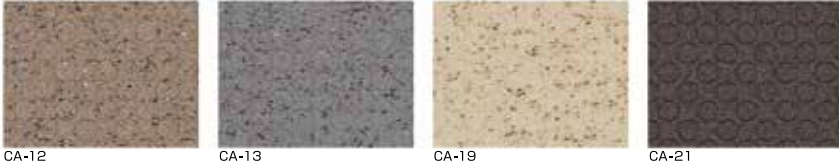
■ファインウォークJP



■ファインウォークAT



■ファインウォークCA



施工の流れ



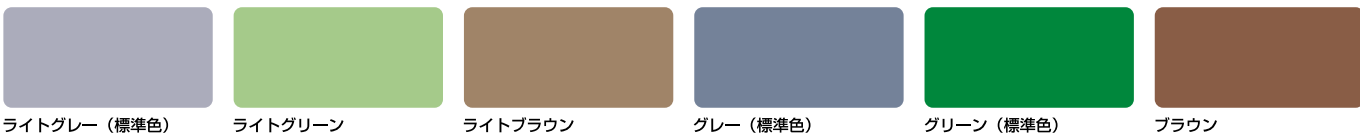
使用材料

ウレタン塗膜防水用	床仕上げ用
・プライマー ・PRコート ・MTトップコート	・ファインウォーク ・エルズシーラー ・ロンセメントUL

防滑性床材の適用箇所

適用箇所	適用材料
開放廊下・ バルコニー・ ルーフバルコニー用	ファインウォーク
階段	ファインステップ

主なMTトップコート



※印刷見本と現品とでは色調が異なる場合があります。ご採用の前に必ず現物サンプルで色をご確認ください。

注意事項

屋上・ルーフバルコニー・ベランダ等をご利用される方へ

防水層が長期間にわたって安定した防水性能（機能）や美しい外観を保つために、日頃から下記の点にご注意いただき、定期的な自主点検とメンテナンスを実施されることをお勧めします。

使用上の注意

原則として維持・管理・点検以外の歩行及び使用はしないでください。

防水層上の注意点

- 歩行する際にハイヒール、スパイク等底の尖った履物は防水層を傷つけるため使用しないでください。
- タバコの火の投げ捨てや火気の使用は、防水層の機能を損なうため、行わないでください。
- 雨や雪などで濡れていたり、落葉・苔・砂埃等が堆積していると滑りやすくなりますので、歩行の際には注意してください。
- 溶剤・油・不凍液・薬品類をこぼさないでください。
- ペットの飼育は、爪や歯で防水層を傷つけたり、排泄物により防水層が劣化する恐れがあります。
- 防水層を傷つけたり、物を落としたり、物を引きずったりすることは避けてください。
- 屋上設備類の定期清掃時に中性洗剤以外を使用する場合は、こぼさないように注意してください。また、清掃後は必ず周囲の防水層を水洗いしてください。
- 重量物や振動物は載せないでください。やむを得ず載せる場合には、ゴムマット等を敷き、防水層を保護してください。
- 雪下ろしには、金属製のスコップ等の防水層を損傷させやすい道具を使用しないでください。
- ゴムホースやビニールサンダルを長期にわたり置いておくと、接触している部分に変色することがあります。
- 直接客土して草木の植栽は行わないでください。ご希望の際は、専門工事店にご相談ください。

自主点検時の注意

- 天候が降雨・強風の場合は、滑落等の危険がありますので、行わないでください。
- 原則として二人一組以上で行い、一人では行わないでください。
- 階段や梯子の昇降には十分注意してください。
- 後ろ向きの移動は危険ですので、絶対行わないでください。
- 屋上設備類には、むやみに触れないでください。
- 降雨後に点検する場合は、床が滑りやすくなっていますので、十分注意してください。
- 危険と思われる場所（怖いと思う場所）には、無理に近づかず業者に依頼してください。

メンテナンスのお願い及び注意

■お願い

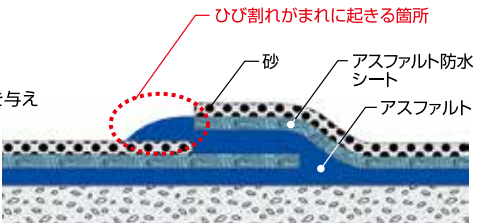
- 防水層の表面状況の点検や漏水の有無の確認（1年に1回以上）
- 防水層端末押え金物廻りの点検（1年に1回以上）
水切金物、笠木の設置状況及び端末処理シール材の劣化状況を確認してください。異常がみられる場合は、施工業者にご相談ください。
- 定期的（3～6ヶ月程度）に清掃を行ってください。
飛来物や排水溝、ドレン部分の泥、枯葉等はよく除去し、水溜りのないようにしてください。
- 定期的（3～6ヶ月程度）に次のように表面状態の点検を行ってください。
保護塗料が薄くなっている、剥離を起こしている、ひび割れがある等の異常や植物の繁茂が認められた場合には、施工業者に連絡してください。特に植物の繁茂は繁茂箇所によっては、防水層を貫通していることもあり得ますので、むやみに引き抜かないでください。

■注意

- 露出防水層には下記のような現象が見られる場合がありますが、防水性能には支障ありません。
- 施工時にルーフィングのジョイント部分よりはみ出したアスファルトに生じるひび割れ。
- 雨水が滞留し易い箇所に花粉、泥、塵埃（黄砂を含む）等が堆積し、乾燥・湿潤を繰り返す事により、発生する表層のひび割れ、捲れ、剥離。
- 表層砂粒への錆の付着及び砂粒に含まれる鉄粉による錆の発生。
- ルーフィングに付着している余剰砂の脱落。
- 表層砂粒間に入り込んだ水分（湿気）による表面の膨れ及び下地に含まれる水分による軽度な防水層の膨れ。
- 仕上（保護）塗料の自然な変色・退色・減耗・ひび割れ。

■ひび割れについて

※ひび割れは、右図に示す通り、防水層に影響を与えるものではなく、防水上問題ありません。



ドレンの排水能力について

改修の場合

改修時には2重ドレンとして「マルエス鉛ドレンM」を使用します。
内径値が既設のドレンより小さくなりますので、その許容値は 表-1・2 のようになります。

表-1：マルエス鉛ドレンM(タテ型)の管径及び許容最大屋根面積

製品名	内径(mm)	外径(mm)	許容水量(m³/s)	許容最大屋根面積(m²)※
φ40	34	37	0.66	23.9
φ50	43	46	1.24	44.7
φ60	52	55	2.06	74.3
φ70	60	63	3.02	108.8
φ80	72	75	4.91	176.9
φ90	84	87	7.41	266.8
φ100	92	95	9.45	340.1

※ 許容最大屋根面積の算定方法

【SHASE-S 206 雨水配水管の決定】より。

許容最大屋根面積 = 36×許容水量×(100／最大雨量(100))

たて管許容水量 = 819,200×たて管断面積^(5/3)×(1／たて管実内径)^(2/3) *断面積の単位(m²)

マルエス鉛ドレンM(タテ型) 製品名：φ100 内径：92mmの場合

たて管許容水量 819,200×(0.046×0.046×π)^(5/3)×(1／0.046)^(2/3)= 9.45

許容最大屋根面積 36×9.45×(100／最大雨量(100))= 340.1(m²)

表-2：マルエス鉛ドレンM(ヨコ型)の管径及び許容最大屋根面積

製品名	ドレン 内径(mm)	ジャバラ 内径(mm)	ジャバラ 許容水量(m³/s)	許容最大屋根面積(m²)			
				配管勾配			
				1/25	1/50	1/75	1/100
φ50	34	38.2	44.5	17.4	—	—	—
φ60	43	50.8	57.8	35.1	—	—	—
φ75	60	63.5	71.2	92.2	65.2	53.2	—
φ90	72	76.2	84.6	154.7	109.4	89.3	77.3
φ100	84	88.9	97.7	238.6	168.7	137.8	119.3
φ125	92	101.3	110.5	307.7	217.5	177.6	153.8

注意事項

日本における最大雨量の基準は給排水衛生設備基準(SHASE-S 206-2019)により最大雨量は100mm/hを基準として考えられております。国内において各地で最大雨量が100mm/h 以上となる様な地方は少ないのが現状です。
しかしながら、近年、ヒートアイランド現象によるとも考えられる、局地的な豪雨や都市型集中豪雨が多発し、短時間でかなりの降雨量になる現象が多々見られ、その場合は10分間の降雨量を1時間に換算すると、100mm/h以上となることが多く、注意が必要です。
ルーブドレンの管径を求めるに当たっては、以下の様な留意点を考慮しつつ、より安全な設計を行うことが求められます。

留意点

● 壁面を流下する雨水について

壁面が風雨にさらされ、かつその壁面から流下した雨水が下部に流れ込み、溢れる危険性がある場合は、壁面を流下する雨量も考慮に入れる必要があります。この場合、壁面面積の50%を下部エリアの面積に加算します。

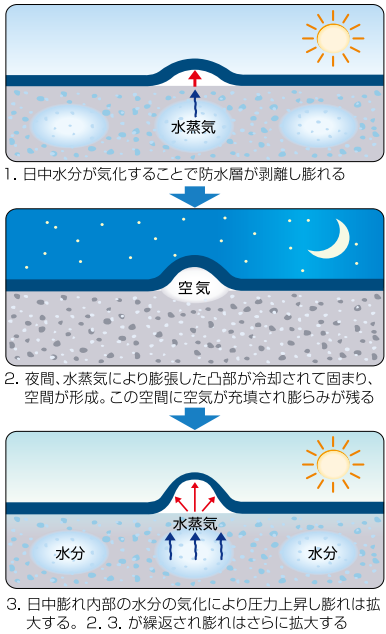
● 砂や泥、落ち葉等によるドレンの詰まりについて

建築物の近隣に樹木や運動場等がある場合、屋上に落ち葉や泥が堆積し、ドレンに詰りが発生する場合があります。排水効率が極端に低下するため、定期的な清掃を行うようにしてください。特に横型ドレンの場合はご注意ください。

防水層の膨れとその補修方法

(1) 膨れ発生メカニズム

コンクリート下地に施工したアスファルト系露出防水層には、膨れがよく発生します。
膨れはコンクリート中の水分が気化し、アスファルト防水層を持ち上げるためにおきる現象です。
アスファルト露出防水層は、昼間スラブコンクリートの温度が上昇するとコンクリートの内部の水分が気化し、内部圧力が上がります。この時アスファルトもアスファルトルーフィングも温度が上昇し、軟化するため、この小さい水蒸気圧でも簡単にコンクリートとアスファルトが剥離し、防水層が凸状に変型します。夜間温度が低下し、水蒸気が凝縮すると内部圧力が低下しますが、気温が低下してアスファルトが固まっているため防水層がもとの形状に戻らず、凸状の変型を維持します。従って、この空間は減圧状態になり、コンクリートを透過した空気が充填されます。
後日、昼間天候が良く防水層とコンクリートの温度が上昇すると、凝縮していた水分が再度気化し、内部圧力が高まり膨れが拡大します。このようにして膨れは徐々に拡大していきます。
膨れの原因は、コンクリート内部の水分ですから施工時のコンクリートの乾燥が十分であれば膨れは出にくくなります。しかし、最近は工期短縮のためコンクリート打設から十分な養生期間をとらずに防水を施工することが多く、膨れが多くなる傾向があります。



(2) 膨れ発生の対策

上記のように膨れの原因は、コンクリート内部の水分ですから、施工時のコンクリートの乾燥を十分にすれば膨れは出にくくなります。また、発生した水蒸気を外部に排出できるように防水層を絶縁工法で施工し、脱気筒を設置すれば膨れの発生を抑制できます。

(3) できてしまった膨れの対策

膨れてしまった防水層は基本的には、補修せずそのまま放置する方が良いとされています。
これは、防水層に膨れがあっても防水層には応力が殆どかからず、耐久性に及ぼす影響は殆どないと考えられるためです。又、切開して、補修してもコンクリート内部から水蒸気が補給されれば再度、膨れが発生する可能性が大きいからです。

(4) 膨れ補修の基準と補修方法

1. 膨れ補修の可否

アスファルト防水施工時のルーフィング類の空隙、気泡、シワ等が生じた場合は、各層毎に補修します。
但し、膨れの補修箇所が切開補修することにより、一体化した防水層を脆弱させルーフィングの接合部分を増やすことになり、水路になる危険性があり漏水などの欠陥部分となりやすいので、膨れに進行性がなく小面積の場合、補修を行わない方が良い場合があります。

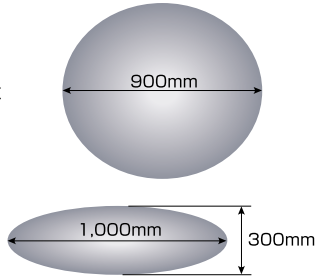
2. 切開補修の目安

2-1：円形の膨れの場合

直径が900mm程度以上の膨れは切開補修を行います。

2-2：楕円形の膨れの場合

長径1,000mm・短径300mm程度以上の膨れは切開補修を行います。



その他の形状の膨れについては、上記を参考に判断し、切開補修を行います。

3. 補修方法手順

3-1：膨れ部分の切開

膨れ箇所をカッター・断ち切り包丁などの道具を用いて、十文字又はH型に切開します。

3-2：乾燥

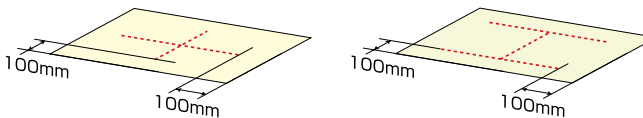
切開した箇所のルーフィングを捲り上げ、下地を十分に乾燥させます。

3-3：ルーフィング張り戻し

溶融したアスファルトを切開箇所に流すか、トーチバーナーで防水層の裏面をあぶり、空気を追い出すようにして張り戻します。

3-4：補修張り

切開した寸法より200mm以上の大きさのルーフィングを、熱アスファルト又はトーチバーナーを用いて、健全部の防水層に切開端部から100mm以上張り掛かるように張ります。増し張りしたルーフィングの接合端部は熱アスファルト又は焼きゴテでシールします。



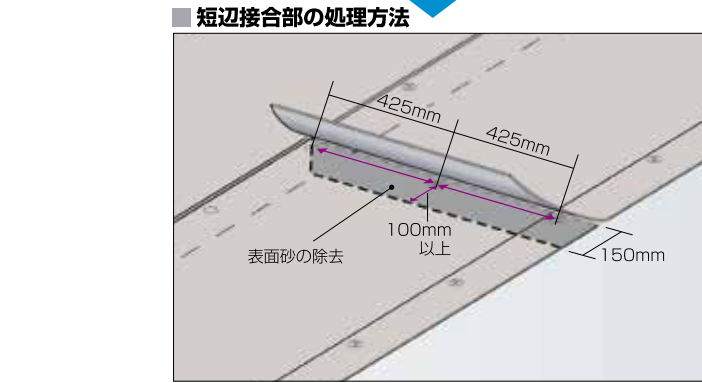
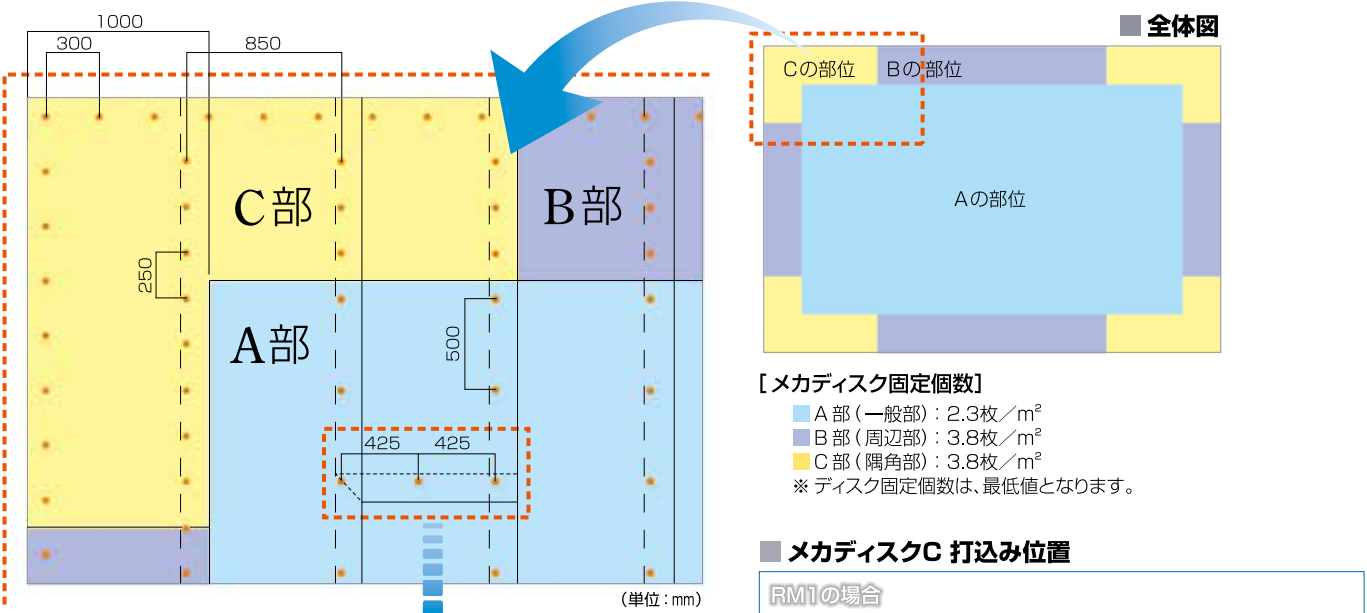
メカトップ工法の耐風圧性

屋根面の防水層は風によって上向きの力（負圧）がかかり、この力に十分に耐えられることが要求されます。建築基準法で定められた風圧力に対し、十分な固定耐力を持つように設計しています。

標準固定ピッチ

メカトップ工法におけるメカディスクの標準固定ピッチは、パラペット端部から100mm離れた箇所を基準とし、外周を300mmピッチで固定します。また、長辺方向の1層目の重ね部及び短辺方向の重ね部の入隅際から1mの範囲を250mmピッチ、その他一般部を500mmピッチとします。幅方向は850mmピッチとします。また、ルーフィングの短辺接合部は425mmピッチとなります。

メカディスク割付図



風圧力の算出

風圧力の計算は、平成12年に改正・施行された建築基準法施行令第82条の5「屋根ふき材等の構造計算」、平成12年建設省告示第1454号（最終改正 令和2年国土交通省告示第1437号）「Erの数値を算出する方法並びにVo及び風力係数の数値を定める件」および1458号「屋根ふき材及び屋外に面する帳壁の風圧に対する構造耐力上の安全性を確かめるための構造計算の基準を定める件」に基づいて行われます。

● 風圧力の計算は以下の式により表されます。

$$W = \bar{q} \times \hat{C}_f \dots \dots \dots \textcircled{1}$$
$$\bar{q} = 0.6 \times E_r^2 \times V_o^2 \dots \dots \textcircled{2}$$

W：風圧力(N/m²) $\bar{q}$ ：速度圧(N/m²) $\hat{C}_f$ ：ピーク風力係数
Er：平均風速の高さ方向の分布を表す係数 Vo：基準風速

(1) 設定条件

建物の高さH=15m 屋根勾配1/50 地表面粗度区分Ⅲ 基準平均風速Vo=34m/s

(2) 実際の計算

- 1. 平均風速の高さの方向の分布を表す係数
地表面粗度区分Ⅲの地域
 $E_r = 0.861$
- 2. 速度圧 $\bar{q}$ の算出
②より、 $\bar{q} = 0.6 \times (0.861)^2 \times (34)^2 = 514 \text{ (N/m}^2\text{)}$
- 3. 風荷重（風圧力）の算出
陸屋根は、勾配が10°未満のためピーク内圧係数は、0となります。
 $\hat{C}_f = \text{外圧係数} - \text{内圧係数} = \text{外圧係数} - 0 = \text{外圧係数}$
各部位の風力係数は、表1の値となります。

図1. 地表面粗度区分の区分け

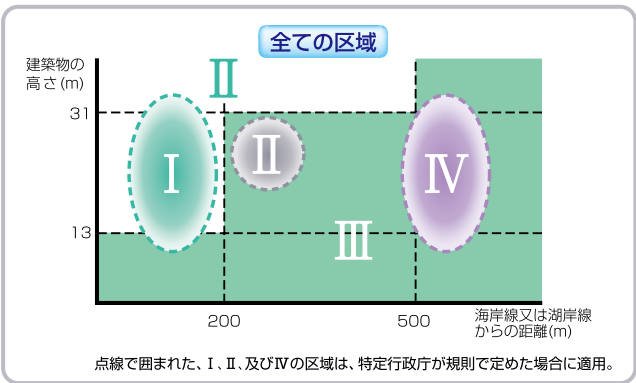


表1. 風力係数

A	B	C
-2.5	-3.2	-4.3

よって、各部位の風圧力①よりは、以下のようになります。

A： $W = 514 \times (-2.5) = -1,285 \text{ (N/m}^2\text{)}$
B： $W = 514 \times (-3.2) = -1,645 \text{ (N/m}^2\text{)}$
C： $W = 514 \times (-4.3) = -2,210 \text{ (N/m}^2\text{)}$

4. 耐風性の検証

- 安全率が200%を超えるか判定します。
- メカディスクCを用いた時のルーフィングジョイント部の強度
⇒ 2,200N/箇所
よって、アンカーの強度が2,200N/箇所以上の場合、ルーフィングジョイント部の強度2,200N/箇所を用いて、耐風性の検証を行う。

表2. メカディスクCの耐風圧 (RM1及びRM2)

	ディスクの枚数 (枚/m ²)	固定強度* (N/m ²)	風圧力 (N/m ²)	安全率 (%)
A	2.3	5,060	1,285	393
B	3.8	8,360	1,645	508
C	3.8	8,360	2,210	378

表3. RFメカアンダーとメカトップF層間の耐風圧 (RM2)

	接着力 (N/m ²)		風圧力 (N/m ²)	安全率 (%)
	20℃	60℃		
A	55,900	11,800	1,285	526
B			1,645	679
C			2,210	505

※ 固定強度は引き抜き強度:300kg/本とし、ルーフィングジョイント部の強度2,200Nを採用した。
※ 実際の現場で引き抜き試験を行ってください。

- 以上のように、建築基準法で定められている風圧力に対し200%以上の安全率があれば、十分な耐風圧力を有することになります。
- 安全率が200%に満たない場合は、その現場ごとにディスク固定ピッチを設定する必要があります。

【注意事項】

- 下記の地域・建物の場合は、別途ご相談下さい。
① 銚子市、館山市、三宅村、室戸市、鹿児島市、沖縄県など基準風速が38m/s以上の強風地域
② 海岸より2km以内の地域（地表面粗度区分Ⅰ・Ⅱ地域）
③ 標高500m以上の区域および30m以上の高層ビル

表（１）Vo（建築基準施行令第87条第2項に規定する基準風速）

区分	地 域	Vo
(三)	静岡県のうち 沼津市 熱海市 三島市 富士市 御殿場市 裾野市 賀茂郡のうち松崎町、西伊豆町及び賀茂村 田方郡 駿東郡	34
	愛知県のうち 名古屋市 岡崎市 一宮市 半田市 津島市 碧南市 刈谷市 安城市 西尾市 蒲郡市 常滑市 江南市 尾西市 稲沢市 東海市 大府市 知多市 知立市 高浜市 岩倉市 豊明市 西春日井郡 葉栗郡 中島郡 海部郡 知多郡 幡豆郡 額田郡のうち幸田町 渥美郡	
	三重県 滋賀県のうち 彦根市 長浜市 近江八幡市 八日市市 野洲郡 甲賀郡 蒲生郡 神崎郡 愛知郡 犬上郡 坂田郡 東浅井郡	
	大阪府のうち 大阪市 堺市 岸和田市 豊中市 池田市 吹田市 泉大津市 貝塚市 守口市 茨木市 泉佐野市 松原市 富田林市 河内長野市 和泉市 箕面市 羽曳野市 門真市 藤井寺市 摂津市 高石市 泉南市 阪南市 大阪狭山市 豊能郡 泉北郡 泉南郡 南河内郡のうち美原町	
	兵庫県のうち 神戸市 尼崎市 明石市 西宮市 洲本市 芦屋市 伊丹市 加古川市 宝塚市 三木市 高砂市 川西市 小野市 三田市 川辺郡 美囊郡 加東郡 加古郡 津名郡 三原郡	
	奈良県のうち 五條市 吉野郡 宇陀郡のうち曽爾村及び御杖村	
	和歌山県 島根県のうち 鹿足郡のうち津和野町、柿木村及び六日市町	
	広島県のうち 呉市 因島市 大竹市 廿日市市 安芸郡のうち海田町、熊野町、坂町、江田島町、音戸町、倉橋町、下蒲刈町 及び蒲刈町 佐伯郡のうち大野町、佐伯町、宮島町、能美町、沖美町及び大柿町 賀茂郡のうち黒瀬町 豊田郡のうち安芸津町、安浦町、川尻町、豊浜町、豊町、大崎町、東野町、木江町及び瀬戸田町	
	山口県 徳島県のうち 三好郡のうち三野町、三好町、池田町及び山城町	
	香川県 愛媛県 高知県のうち 土佐郡のうち大川村及び本川村 吾川郡のうち池川町	
	福岡県のうち 北九州市 福岡市 大牟田市 久留米市 直方市 飯塚市 田川市 柳川市 筑後市 大川市 行橋市 中間市 筑紫野市 春日市 大野城市 宗像市 太宰府市 前原市 古賀市 筑紫郡 糟屋郡 宗像郡 遠賀郡 鞍手郡 嘉穂郡のうち筑穂町、穂波町、庄内町及び潁田町 糸島郡 三潞郡 山門郡 三池郡 田川郡のうち香春町、金田町、糸田町、赤池町及び方城町 京都郡のうち苅田町、勝山町及び豊津町	
	佐賀県 長崎県のうち 長崎市 佐世保市 島原市 諫早市 大村市 平戸市 松浦市 西彼杵郡 東彼杵郡 北高来郡 南高来郡 北松浦郡 南松浦郡のうち若松町、上五島町、新魚目町、有川町及び奈良尾町 壱岐郡 下県郡 上県郡	
	熊本県のうち 熊本市 八代市 人吉市 荒尾市 水俣市 玉名市 本渡市 牛深市 宇土市 宇土郡 天草郡 下益城郡 玉名郡のうち岱明町、横島町、天水町、玉東町及び長洲町 上益城郡 八代郡 葦北郡 球磨郡 宮崎県のうち 延岡市 日向市 西都市 西諸県郡のうち須木村 児湯郡 西臼杵郡のうち五ヶ瀬町 東臼杵郡のうち門川町、東郷町、南郷村、西郷村、北郷村、北方町、北浦町、諸塚村及び椎葉村	
(四)	北海道のうち 山越郡 松山郡 爾志郡 久遠郡 奥尻郡 瀬棚郡 島牧郡 寿都郡 岩内郡のうち岩内町 磯谷郡 古宇郡	36
	茨城県のうち 鹿嶋市 鹿島郡のうち神栖町及び浜崎町 行方郡のうち牛堀町及び潮来町	

区分	地 域	Vo
(四)	千葉県のうち 千葉市 佐原市 成田市 佐倉市 習志野市 四街道市 八街市 山武郡のうち山武町及び芝山町 印旛郡のうち酒々井町、富里町、印旛村、本埜村及び栄町香取郡	36
	神奈川県のうち 横須賀市 逗子市 三浦市 三浦郡	
	静岡県のうち 伊東市 下田市 賀茂郡のうち東伊豆町、河津町及び南伊豆町	
	徳島県のうち 徳島市 鳴門市 小松原市 阿南市 勝浦郡 名東郡 名西郡那 賀郡のうち那賀川町及び羽ノ浦町 板野郡 阿波郡 麻植郡 美馬郡 三好郡のうち井川町、三加茂町、東祖谷山村及び西祖谷山村	
	高知県のうち 宿毛市 長岡郡 土佐郡のうち鏡村、土佐山村及び土佐町 吾川郡のうち伊野町、吾川村及び吾北村 高岡郡のうち佐川町、越知町、梶原町、大野見村、東津野村、葉山村、仁淀村及び日高村 幡多郡のうち大正町、大月町、十和村、西土佐村及び三原村	
	長崎県のうち 福江市 南松原郡のうち富江町、玉之浦町、三井楽町、岐宿町及び奈留町	
	宮崎県のうち 宮崎市 都城市 日南市 小林市 串間市 えびの市 宮崎郡 南那珂郡 北諸県郡 東諸県郡 西諸県郡のうち高原町及び野尻町	
	鹿児島県のうち 川内市 阿久根市 出水市 大口市 国分市 鹿児島郡のうち吉田町 出水郡 伊佐郡 始良郡 薩摩郡のうち樋脇町、入来町、東郷町、宮之城町、鶴田町、薩摩町及び祁答院町曾於郡	
(五)	千葉県のうち 銚子市 館山市 木更津市 茂原市 東金市 八日市場市 旭市 勝浦市 市原市 鴨川市 君津市 富津市 袖ヶ浦市 海上郡 匝瑳郡 長生郡 夷隅郡 安房郡 山武郡のうち大網白里町、九十九里町、成東町、蓮沼村、松尾町及び横芝町	38
	東京都のうち 大島町 利島村 新島村 神津島村 三宅村 御蔵島村	
	徳島県のうち 那賀郡のうち鷲敷町、相生町、上那賀町、木沢村及び木頭村海部郡	
	高知県のうち 高知市 安芸市 南国市 土佐市 須崎市 中村市 土佐清水市 安芸郡のうち馬路村及び芸西村 香美郡 吾川郡のうち春野町 高岡郡のうち中土佐町及び窪川町 幡多郡のうち佐賀町及び大方町	
	鹿児島県のうち 鹿児島市 鹿屋市 串木野市 垂水市 鹿児島郡のうち桜島町 肝属郡のうち串良町、東串良町、高山町 吾平町、内之浦町及び大根占町 日置郡のうち市来町、伊集院町、松元町、郡山町、日吉町及び吹上町	
(六)	高知県のうち 室戸市 安芸郡のうち東洋町、奈半利町、田野町、安田町及び北川村	40
	鹿児島県のうち 枕崎市 指宿市 加世田市 西之表市 揖宿郡 川辺郡 日置郡のうち金峰町 薩摩郡のうち里村、上甕村、下甕村及び鹿島村 肝属郡のうち根占町、田代町及び佐多町	
(七)	東京都のうち 八丈町 青ヶ島村 小笠原村 鹿児島県のうち 熊本郡のうち中種子町及び南種子町	42
(八)	鹿児島県のうち 鹿児島郡のうち三島村 熊本郡のうち上屋久町及び屋久町	44
(九)	鹿児島県のうち 名瀬市 鹿児島郡のうち十島村 大島郡 沖縄県	46

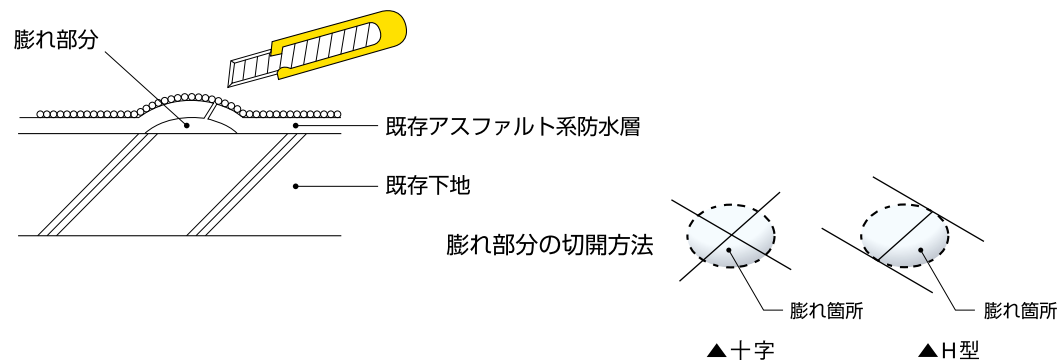
下地調整方法

下地調整材

平場について

■下地が露出防水の場合

- 既存防水層の著しい膨れ部は、カッター等で切開し防水層を張り戻すなど、施工に支障が無い程度に調整します。
また、劣化の著しい部分は、必要に応じて切除します。



- 下地を調整した後は、清掃してホコリや汚れを取り除きます。
※既存下地がアスファルト系露出防水の場合は、防水層の膨れ部等の処理をした後に、マルエスシーラー又はAQシーラーを適量塗布します。
塗布量は、下地の状態によって異なることもあります。

■下地が押えコンクリートの場合

- 下地の不陸や欠損部等には、セメント系の下地調整材を使用します。（現場の状況によって処理方法が異なる場合がありますので、メーカーまたは会員へご相談ください）
- 防水層の膨れが予想される場合は、ニューステンレスベント（脱気筒）の採用をお勧めします。（50～100㎡に1箇所程度）

■下地がアスファルト成形板、ブロック仕上げの場合

- 著しい段差がある場合は、モルタル等で下地を調整してください。（現場の状況によって処理方法が異なる場合がありますので、メーカーまたは会員へご相談ください）
- 下地を調整した後は、清掃してホコリや汚れを取り除きます。

立上り部について

- 立上り部の既存防水層は、原則として撤去します。
- 既存防水層を撤去した場合は、下地の欠損部をモルタル等で充填してください。
- 下地を調整した後は、清掃してホコリや汚れを取り除きます。

改修用ドレンについて

- 改修用ドレンを使用する場合は、専用ドレンをご使用ください。
ドレンの種類は、鉛ドレン・銅ドレンがあります。

アスファルト系下地調整材

マルエスシーラー（溶剤系）

1. 乾燥が早い

溶剤系のため、乾燥が早く早期に次工程の施工が可能です。
寒冷期にも使用が可能です。

2. 接着性が良い

既存アスファルト系防水層との接着性に優れています。
また、新規アスファルト系防水層とも良好な接着性を有します。

3. 施工性が良い

1成分型のため、扱い易くまた塗り易いので耐油スポンジ
刷毛、金ゴテ等で容易に施工できます。

既存下地がアスファルト防水層である場合のアスファルト系下地処理材です。



●規格：20kg/缶入（第四類第二石油類）

AQシーラー（水性系）

1. 厚塗りが可能

特殊水硬性粉体の作用により硬化・乾燥が早く、厚塗りが可能です。
防水層の部分撤去部の不陸調整にも使用でき、また2.0kg/㎡以上を塗布した場合には1～2日程度の仮防水性があります。

2. 安全性が高い

A剤・B剤セットのため、容易に調合ができます。
また、溶剤や火気を一切使用しないため安全です。

3. 接着性が良い

既存アスファルト系防水層との接着性に優れています。また、
新規アスファルト系防水層とも良好な接着性を有します。

4. 施工性が良い

材料が塗り易く、金ゴテ、ゴム刷毛等で容易に施工できます。

既存下地がアスファルト防水層撤去後の不陸調整に使用するゴムアスファルト系下地調整材です。



●規格：A剤＝17kg/缶入、B剤＝18kg×2袋

ニューセッターボード（アスファルト系）

1. 防水層が膨れにくい

下地に部分固定されているため、防水層の膨れが発生しにくくなります。

2. 工期の短縮が図れる

施工後は、直ぐに次工程の防水施工が可能なので工期の短縮が図れます。

3. 接着性が良い

USボンドAにより、コンクリートやアスファルト下地に強固に接着します。

4. 施工性が良い

適度な柔軟性があるため、下地への馴染みが良く施工性が良好です。

ニューセッターボードは、両面にアスファルト含浸面材を貼り合わせ、無機質系充填材を混入した、アスファルト系マスチックパネルです。



●規格：幅1000mm×長さ1000mm/枚、厚さ3mm

セメント系下地調整材

フィットエポ#10

コンクリート面に対して高い接着力を持つセメント系下地調整材です。

●規格：粉体13kg×2袋
主剤＝4kg、硬化剤＝4kg



フィットリーチ

硬化体は耐溶剤性に優れ、ウレタン防水・シート防水に適した下地調整材です。

●規格：主剤＝25kg、
混和液＝4kg



主な使用材料

アスファルト・接着剤

RFコート

1液型の常温アスファルトです。平場用に使用します。



■規格：20kg／缶入

RFコートV

1液型の常温アスファルトです。立面用に使用します。



■規格：10kg／缶入

アスコート

1液型無溶剤タイプの湿気硬化型塗膜防水材です。

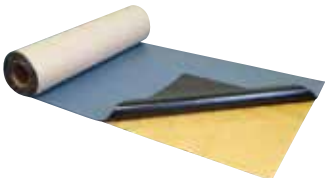


■規格：10kg／缶入

RFコート常温工法

Cルーフ

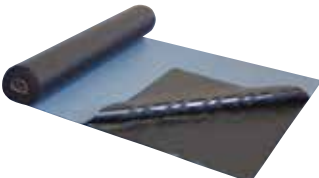
合成繊維不織布を基材とした粘着層付改質アスファルトルーフィングです。密着工法に使用します。



■規格：幅1m×長さ16m、28kg／巻、厚さ1.5mm

CルーフS

合成繊維不織布を基材とした部分粘着層付改質アスファルトルーフィングです。絶縁工法に使用します。



■規格：幅1m×長さ16m、30kg／巻、厚さ1.5mm

CキャップK

合成繊維不織布を基材とした表面にスレートチップを圧着した改質アスファルトルーフィングです。露出防水工法に使用します。



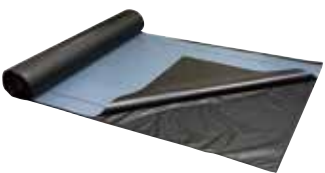
■規格：幅1m×長さ8m、28kg／巻、厚さ3.0mm

RF常温粘着工法・常温粘着断熱工法

非露出複層防水用R種

Nルーフ

合成繊維不織布を基材とした粘着層付改質アスファルトルーフィングです。密着工法に使用します。JIS A 6013認証品

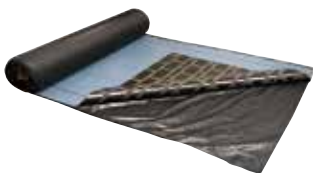


■規格：幅1m×長さ12m、27kg／巻、厚さ2.0mm

非露出複層防水用R種

NルーフS

合成繊維不織布を基材とした部分粘着層付改質アスファルトルーフィングです。絶縁工法に使用します。JIS A 6013認証品

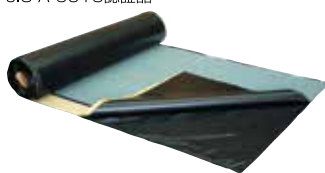


■規格：幅1m×長さ12m、33kg／巻、厚さ2.0mm

露出複層防水用R種

NサンドAF

合成繊維不織布を基材とした表面にスレートチップを圧着した粘着層付改質アスファルトルーフィングです。露出複層工法に使用します。JIS A 6013認証品



■規格：幅1m×長さ8m、29kg／巻、厚さ3.0mm

露出単層防水用R種

NサンドUF

合成繊維不織布を基材とした表面にスレートチップを圧着した粘着層付改質アスファルトルーフィングです。露出単層工法に使用します。JIS A 6013認証品



■規格：幅1m×長さ8m、38kg／巻、厚さ4.0mm

トーチ工法用

非露出複層防水用R種

Tルーフ

合成繊維不織布を基材とした粘着層付改質アスファルトルーフィングです。密着複層工法に使用します。JIS A 6013認証品



■規格：幅1m×長さ12m、27kg／巻、厚さ2.0mm

非露出複層防水用R種

TルーフS

合成繊維不織布を基材とした粘着層付改質アスファルトルーフィングです。絶縁複層工法に使用します。JIS A 6013認証品



■規格：幅1m×長さ12m、33kg／巻、厚さ2.0mm

露出単層防水用R種

TキャップF

合成繊維不織布を基材とした砂付改質アスファルトルーフィングです。露出単層工法に使用します。JIS A 6013認証品



■規格：幅1m×長さ8m、38kg／巻、厚さ4.0mm

露出複層防水用R種

TキャップA

合成繊維不織布を基材とした砂付改質アスファルトルーフィングです。露出複層工法に使用します。JIS A 6013認証品



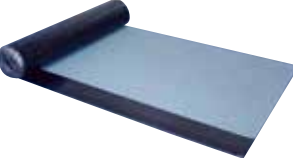
■規格：幅1m×長さ8m、30kg／巻、厚さ3.0mm

メカトップ工法用

露出単層防水用R種

メカトップF

合成繊維不織布を基材とした砂付改質アスファルトルーフィングです。露出単層工法に使用します。JIS A 6013認証品



■規格：幅1m×長さ8m、38kg／巻、厚さ4.0mm

RFメカアンダー

合成繊維不織布を基材とした改質アスファルトルーフィングです。露出複層工法に使用します。



■規格：幅1m×長さ8m、23kg／巻、厚さ2.5mm

メカディスクC



■規格：エアピン用
直径45φ(穴径4.5φ) 100枚袋入り
アンカーボルト・MFプラグビス用
直径45φ(穴径7.0φ) 100枚袋入り

アンカーボルトS・L



■規格：アンカーボルトS
軸径6φ(ドリル径6.4φ) L=40mm 80本／箱
アンカーボルトL
軸径6φ(ドリル径6.4φ) L=80mm 100本／箱

エアピン

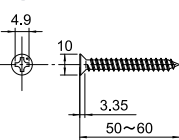


■規格：30・35・40・45・50・55・60mm
各100本／箱

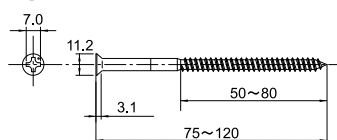
MFプラグビス

■ビスの形状

●50mm～60mm

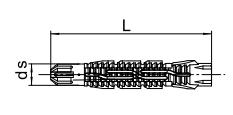


●75mm～120mm



■プラグの形状

●HUD-L
(ds×L=6×50/8×60)



■MFプラグビスの種類

名 称	ビス規格	材 質	プラグ呼称	材 質	対応断熱材厚み	ドリル径	十字ビット	梱包単位
HUD-50	φ4.5mm×50mm	ステンレス	HUD-L (6×50)	ナイロン	対応不可	φ6mm	No.2	500本／箱
HUD-60	φ4.5mm×60mm		HUD-L (8×60)		30mm以下	φ8.5mm	No.3	100本／箱
HUD-75	φ5.8mm×75mm				35～45mm			
HUD-90	φ5.8mm×90mm				50～60mm			
HUD-105	φ5.8mm×105mm				65～75mm			
HUD-120	φ5.8mm×120mm							

メンテックス工法用

メンテックスF

粘着層付改質アスファルト系密着シートです。クラック防止効果を併せもちます。



■規格：幅1m×長さ15m、18kg／巻、厚さ1.0mm

メンテックスS

粘着層付改質アスファルト系絶縁シートです。通気効果とクラック防止効果を併せもちます。



■規格：幅1m×長さ15m、18kg／巻、厚さ1.0mm

MTコート

環境に配慮した2成分型ウレタン系平場用防水材です。



■規格：18kg／セット
(主剤6kg・第四類第三石油類)
(硬化剤12kg・可燃性液体類)

MTコートV

環境に配慮した2成分型ウレタン系立面用防水材です。



■規格：18kg／セット
(主剤6kg・第四類第三石油類)
(硬化剤12kg・非危険物固体)

プロント工法用

PRコートS

2成分型ウレタン系平場用防水材です。



■規格：30kg／セット
(主剤15kg・第四類第二石油類)
(硬化剤15kg・第四類第二石油類)

PRコートV

2成分型ウレタン系立面用防水材です。



■規格：10kg／セット
(主剤5kg・第四類第二石油類)
(硬化剤5kg・第四類第二石油類)

PRコートB

2成分型ウレタン系平場用防水材です。



■規格：18kg／セット
(主剤6kg・第四類第四石油類)
(硬化剤12kg・可燃性液体類)

PRコートBV

2成分型ウレタン系立面用防水材です。



■規格：18kg／セット
(主剤6kg・第四類第四石油類)
(硬化剤12kg・可燃性液体類)

主な使用材料

仕上塗料

プレノカラー遮熱

遮熱効果を持つ水性アクリル系カラー塗料です。



■規格：16.3kg／缶入

ライトグレー

シルバーグレー

ミドルグリーン

サーモロックカラー-MB

明度を下げた遮熱効果を持つ暗色系水性アクリル系カラー塗料です。



■規格：16.3kg／缶入（受注生産）

グレー

グリーン

アッシュグリーン

トープ

レンガ

ブラウン

FPクール

遮熱効果と飛び火抑制機能を併せ持つ水性アクリル系カラー塗料です。



■規格：18kg／缶入（受注生産）

ホワイト

ライトグレー

ライトグリーン

ハイクール

高い遮熱効果と耐候性を併せ持つ水性アクリルシリコン系カラー塗料です。



■規格：16kg／缶入

ホワイト

ミドルグレー

ライトグリーン

MTトップコート

溶剤2成分型アクリルウレタン系トップコートです。



■規格：主剤 7kg／缶入（第四類第二石油類）
硬化剤 7kg／缶入（第四類第一石油類）

ライトグレー

グレー

グリーン

※色見本は印刷物のため、実際の色調とは若干異なる場合があります。

下地調整材・プライマー類

AQシーラー
（水性系）アスファルト系下地調整材です。



■規格：A材 17kg／缶入、B材 18kg×2袋（第四類第二石油類）

マルエスシーラー
（溶剤系）アスファルト系下地調整材です。



■規格：20kg／缶入（第四類第二石油類）

カスタムプライマー-E

ゴムアスファルトをベースとした、水性系プライマーです。



■規格：16kg／缶入

カスタムプライマー

ゴムアスファルトをベースとした、溶剤系プライマーです。



■規格：16kg／缶入（第四類第二石油類）

プライマー-AQ

アスファルトをベースとした、水性系プライマーです。



■規格：16kg／缶入

アスファルトプライマー

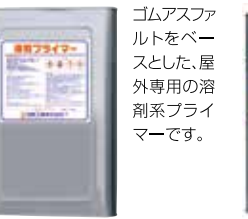
アスファルトをベースとした、溶剤系プライマーです。



■規格：15kg／缶入（第四類第二石油類）

速乾プライマー

ゴムアスファルトをベースとした、屋外用の溶剤系プライマーです。



■規格：15kg／缶入（第四類第一石油類）

USプライマー-M4
（弱溶剤系）
弱溶剤2成分型エポキシウレタン系プライマーです。



■規格：主剤 4kg／缶入、硬化剤 4kg／缶入（第四類第一石油類）

USプライマー-C1
（溶剤系）
溶剤1成分型ウレタン系プライマーです。メンテックス工法はUSプライマー-C1、プロント工法では、USプライマー-C10として使用します。



■規格：17kg／缶入（第四類第二石油類）

接着剤・シール材

USボンドA

1液タイプの湿気硬化型アスファルト系接着剤です。



■規格：20kg／缶入、10kg／缶入 330mLカートリッジ 24本／箱入

カスタムコーティングS

接着性、耐寒性、高温ダレ特性に優れたゴムアスファルト系シール材です。



■規格：22kg／缶入、11kg／缶入 330mLカートリッジ 24本／箱入

マルチシール

高耐候性変成シリコン系シール材です。



■規格：330mLカートリッジ 24本／箱入

断熱材

グリーン購入法適合製品 シェーンボード

硬質ウレタン系断熱材です。JIS A 9521（建築用断熱材）硬質ウレタンフォーム断熱材2種1・2号の透湿係数を除く規格に適合しています。



■規格：幅605mm×長さ910mm
厚さ(mm) 25 30 35 40 50 60
梱包単位(枚) 20 15 15 10 10 8
※受注生産（地域によっては寸法が605×830mmになる場合があります）

増張り材/補強布

クロスK

ポリエステル繊維メッシュのクロスです。立上り・架台廻り工法に使用します。



■規格：幅1.02m×長さ50m／巻

MXテープ

「メンテックスF・S」のジョイント用テープです。



■規格：幅100mm×長さ50m／巻

テープJ

「メンテックスF・S」の端用テープです。



■規格：幅100mm×長さ25m（4巻入／箱）

メジテープ

伸縮目地処理用の粘着層付改質アスファルト防水テープです。



■規格：幅10cm×長さ16m／巻、厚さ1.0mm

SKルーフBFテープ

合成繊維不織布を基材とした粘着層付改質アスファルトルーフィングです。トーチ工法の入隅部等の増張りに使用します。



■規格：幅20cm×長さ12m／巻 10.8kg 厚さ2.0mm（2巻入）

EEルーフBFテープ

合成繊維不織布を基材とした粘着層付改質アスファルトルーフィングです。RF常温粘着・粘着断熱工法の入隅部等の増張りに使用します。

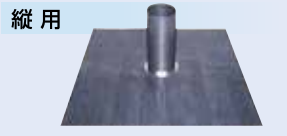


■規格：幅20cm×長さ12m／巻 10.8kg 厚さ2.0mm（2巻入）

改修用ドレン マルエス鉛・銅ドレン

マルエス鉛ドレンM

縦用



■外寸法：330mm×330mm×(H)150mm
■板厚：1.5mm

横用



■外寸法：330mm×330mm
■ホース長：500mm
■板厚：1.5mm

マルエス銅ドレン

縦用



■外寸法：365mm×365mm×(H)150mm
■板厚：本体部0.5mm 筒部0.7mm

横用



■外寸法：365mm×365mm
■ホース長：600mm
■板厚：本体部0.5mm 筒部0.7mm

縦用	呼称	内径 (mm)	外径 (mm)	許容最大屋根面積 (m ²)	横用	呼称	ドレン内径 (mm)	ジャバラ内径 (mm)	ジャバラ外径 (mm)	許容最大屋根面積 (m ²)			
										配管ごう配			
鉛ドレンM	φ40	34	37	23.9	鉛ドレンM	φ50	34	38.2	44.5	24.4	—	—	—
	φ50	43	46	44.7		φ60	43	50.8	57.8	45.6	32.2	—	—
	φ60	52	55	74.3		φ75	60	63.5	71.2	110.8	78.3	64.0	—
	φ70	60	63	108.8		φ90	72	76.2	84.6	180.2	127.4	104.0	90.1
	φ80	72	75	176.9		φ100	84	88.9	97.7	271.8	192.2	156.9	135.9
	φ90	84	87	266.8		φ125	92	101.3	110.5	364.4	244.9	200.0	173.2
	φ100	92	95	340.1	銅ドレン	φ75	60.8	63.5	72.6	114.8	81.2	66.3	57.4
銅ドレン	φ75	56.6	58.0	93.1		φ100	73.4	76.2	85.8	189.7	134.1	109.5	94.8
	φ100	78.1	79.5	219.7									

※【SHASE-S 206-2019 給排水衛生設備基準・同解説】 4. 雨水配水管径の決定により算出（許容最大屋根面積は、雨量100mm/hを基準として算出しているもので、流速が0.6m/s 未満または1.5m/s を超えるものは望ましくないため除外（－を記入））

マルエスアルミドレンキャップ

■縦・大



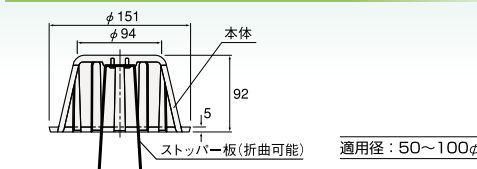
適用径：50～100φ

■縦・小



適用径：30～75φ

マルエスドレンキャップ・縦（鉄錆物）



適用径：50～100φ

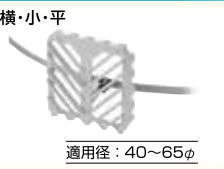
マルエスアルミドレンキャップ

■横自在



適用径：50～100φ

■横・小・平



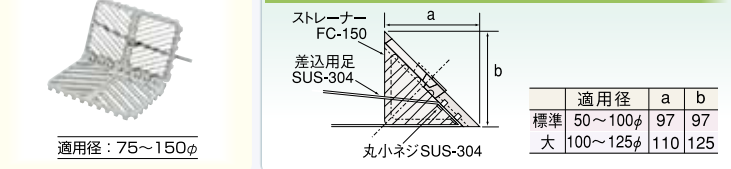
適用径：40～65φ

■横・小・L



適用径：40～65φ

マルエスドレンキャップ・横（鉄錆物）

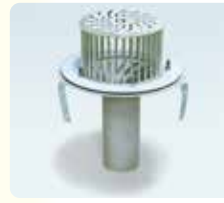


適用径：75～150φ

改修用ドレン スパイラルドレン

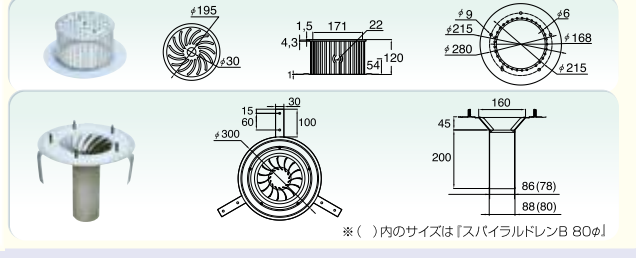
排水口がスパイラル（螺旋）構造となっており、排水機能が大幅に向上しております。また、ステンレス製（SUS304）なので耐食・耐久性に優れます。

スパイラルドレンA 88φ / スパイラルドレンA 88φ



■1個／箱
（ストレーナー・ナット・シリコンゴム同梱）





※（ ）内のサイズは「スパイラルドレンB 80φ」

42

43

主な使用材料

マルエスアルミ水切り

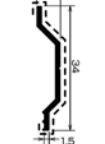
●MF (フラット)

MF-30D



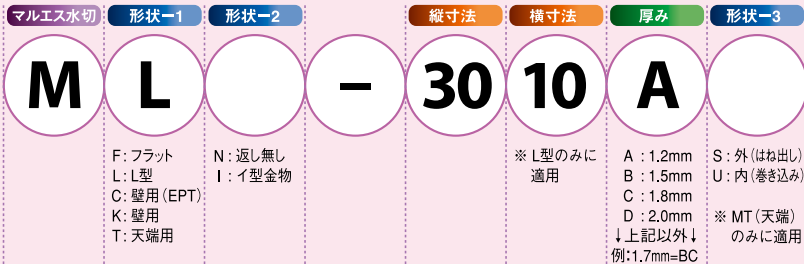
■規格：
30mm×2m
t=2.0mm

MF-34B



■規格：
34×6.5mm×2m
t=1.5mm
ジョイント板別途 (型材)

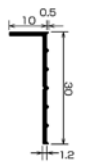
製品記号の見方



※アルミ水切りはMT-61BSを除き、全てビス穴無しで納材されます。ビス穴が必要な場合は47頁「製品発注に関する注意事項」をご参照ください。

●ML (L型)

ML-3010A



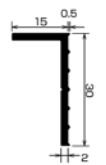
■規格：
30×10mm×2m
t=1.2mm

ML-3010B



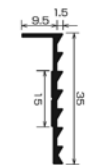
■規格：
30×10mm×2m
t=1.5mm

ML-3015D



■規格：
30×15mm×2m
t=2.0mm

ML-3511A



■規格：
35×11mm×2m
t=1.2mm

ML-4010A



■規格：
40×10mm×2m
t=1.2mm

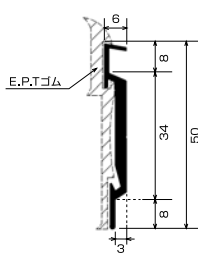
ML-4010D



■規格：
40×10mm×2m
t=2.0mm

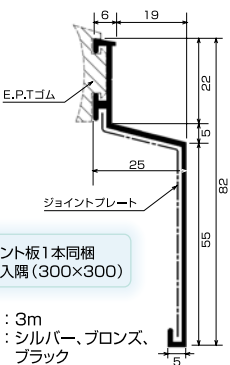
●MC (壁用水切EPTゴム付き)

MC-50S



■規格：2m
■色：シルバー

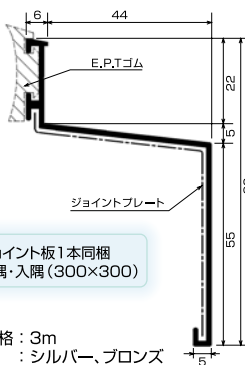
MC-55S



ジョイント板1本同梱
出隅・入隅 (300×300)

■規格：3m
■色：シルバー、ブロンズ、ブラック

MC-55WS

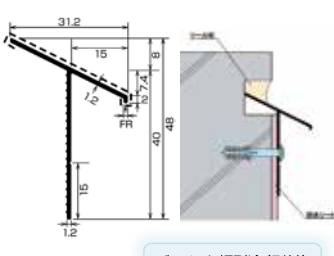


ジョイント板1本同梱
出隅・入隅 (300×300)

■規格：3m
■色：シルバー、ブロンズ

●MK (壁用特殊)

MKI-48A



■規格：2m
■色：シルバー

●MK (壁用水切)

MKN-49A



ジョイント板別途 (曲げ材)
出隅・入隅 (200×200)
エンドキャップあり

■規格：2m, t=1.2mm
■色：シルバー、ブロンズ、ブラック、ステンカラー

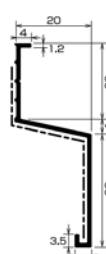
MKN-82A



ジョイント板別途 (曲げ材)
出隅・入隅 (300×300)
エンドキャップあり

■規格：2m, t=1.2mm
■色：シルバー、ブロンズ、ブラック、ステンカラー

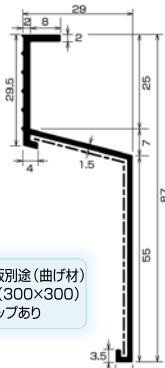
MK-54A



ジョイント板別途 (曲げ材)
出隅・入隅 (200×200)
エンドキャップあり

■規格：2m, t=1.2mm
■色：シルバー、ブロンズ、ブラック、ステンカラー

MK-87B



ジョイント板別途 (曲げ材)
出隅・入隅 (300×300)
エンドキャップあり

■規格：2m, t=1.5mm
■色：シルバー、ブロンズ、ステンカラー

MK-112B



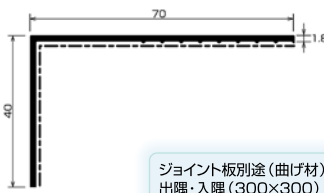
ジョイント板別途 (曲げ材)
出隅・入隅 (300×300)
エンドキャップあり

■規格：2m, t=1.5mm
■色：シルバー

マルエスアルミ水切り

●MT (天端用)

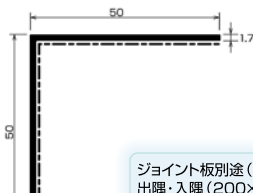
MT-40C



ジョイント板別途 (曲げ材)
出隅・入隅 (300×300)

■規格：40×70mm×2m, t=1.8mm
■色：シルバー、ブラック

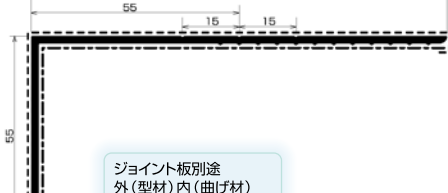
MT-50BC



ジョイント板別途 (曲げ材)
出隅・入隅 (200×200)

■規格：50×50mm×2m, t=1.7mm
■色：シルバー

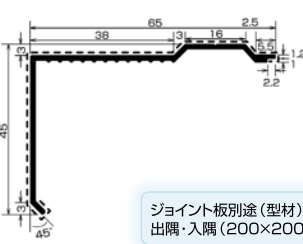
MT-55D



ジョイント板別途
外 (型材) 内 (曲げ材)
出隅・入隅 (300×300)

■規格：55×110mm×2m, t=2.0mm
■色：シルバー

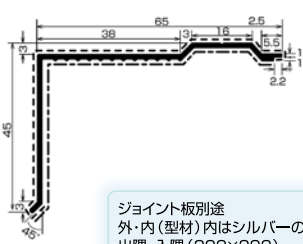
MT-42BU



ジョイント板別途 (型材)
出隅・入隅 (200×200)

■規格：42×65mm×2m, t=1.5mm
■色：シルバー

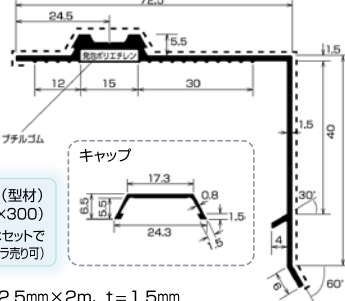
MT-42BS



ジョイント板別途
外・内 (型材) 内はシルバーのみ
出隅・入隅 (200×200)

■規格：42×65mm×2m, t=1.5mm
■色：シルバー、ブロンズ、ブラック、ステンカラー

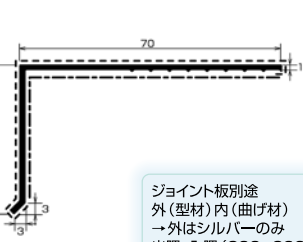
MT-61BS



ジョイント板別途 (型材)
出隅・入隅 (300×300)
※本体とキャップはセットで
納材されます。(バラ売り可)

■規格：61×72.5mm×2m, t=1.5mm
ビス穴あり (6φ, 8穴, 50端)
■色：シルバー

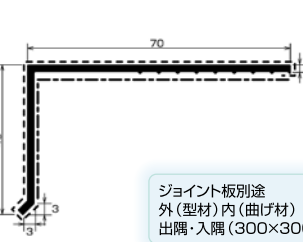
MT-40BS



ジョイント板別途
外 (型材) 内 (曲げ材)
→外はシルバーのみ
出隅・入隅 (300×300)

■規格：40×70mm×2m, t=1.5mm
■色：シルバー、ブロンズ、ブラック、ステンカラー

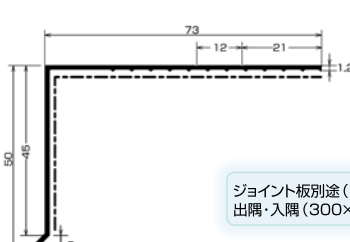
MT-40DS



ジョイント板別途
外 (型材) 内 (曲げ材)
出隅・入隅 (300×300)

■規格：40×70mm×2m, t=2.0mm
■色：シルバー

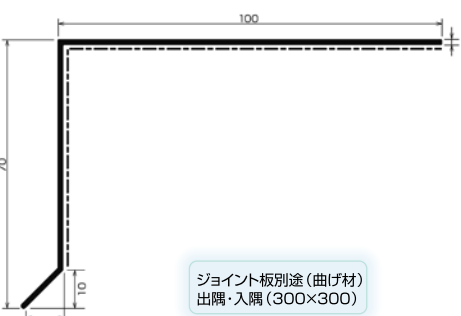
MT-50AS



ジョイント板別途 (曲げ材)
出隅・入隅 (300×300)

■規格：50×73mm×2m, t=1.2mm
■色：シルバー

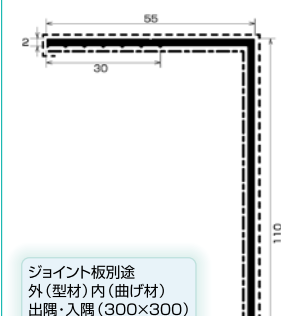
MT-70BS



ジョイント板別途 (曲げ材)
出隅・入隅 (300×300)

■規格：70×100mm×2m, t=1.5mm
■色：シルバー

MT-110D

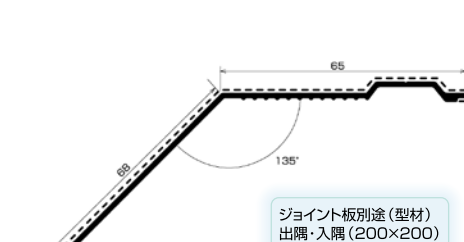


ジョイント板別途
外 (型材) 内 (曲げ材)
出隅・入隅 (300×300)

■規格：110×55mm×2m,
t=2.0mm
■色：シルバー

●MT (天端用特殊)

MT-50AB



ジョイント板別途 (型材)
出隅・入隅 (200×200)

■規格：H50 68×65mm×2m, t=1.3mm
■色：シルバー、ブロンズ、ブラック

使用材料一覧

種 別	製 品 名	規 格 及 び 内 容	備 考
プライマー	プライマーAQ	16kg／缶	水性系アスファルトプライマー
	アスファルトプライマー	15kg／缶	溶剤系アスファルトプライマー
	カスタムプライマーE	16kg／缶	水性系ゴムアスファルトプライマー
	カスタムプライマー	16kg／缶	溶剤系ゴムアスファルトプライマー
	速乾プライマー	15kg／缶	屋外用溶剤系ゴムアスファルトプライマー
	USプライマーM4	主剤:4kg／缶、硬化剤:4kg／缶	エポキシウレタン系プライマー
	USプライマーC1※1	17kg／缶	ウレタン系プライマー
下地調整材	マルエスシーラー	20kg／缶	アスファルト系下地活性材
	AQシーラー	A材:17kg／缶、B材:18kg×2袋	アスファルト系下地調整材
	ニューセッターボード	幅1000mm×長さ1000mm、厚さ3mm、4.5kg／枚	アスファルト系下地調整板
	フィットエポ#10	粉体13kg×2袋、主剤:4kg、硬化剤:4kg	ポリマーセメント系下地調整材
ルーフィング類	フィットリーチ	主剤:25kg、混和液:4kg	ポリマーセメント系下地調整材
	CルーフF	幅1m×長さ16m、厚さ1.5mm、28kg／巻	RFコート常温工法用
	CルーフS	幅1m×長さ16m、厚さ1.5mm、30kg／巻	RFコート常温工法用
	CキャップK	幅1m×長さ8m、厚さ3mm、28kg／巻	RFコート常温工法用
	NルーフF	幅1m×長さ12m、厚さ2mm、27kg／巻	RF常温粘着・常温粘着断熱工法用
	NルーフS	幅1m×長さ12m、厚さ2mm、33kg／巻	RF常温粘着・常温粘着断熱工法用
	NサンドAF	幅1m×長さ8m、厚さ3mm、29kg／巻	RF常温粘着・常温粘着断熱工法用
	NサンドUF	幅1m×長さ8m、厚さ4mm、38kg／巻	RF常温粘着・常温粘着断熱工法用
	TルーフF	幅1m×長さ12m、厚さ2mm、27kg／巻	トーチ工法用
	TルーフS	幅1m×長さ12m、厚さ2mm、33kg／巻	トーチ工法用
	TキャップA	幅1m×長さ8m、厚さ3mm、30kg／巻	トーチ工法用
	TキャップF	幅1m×長さ8m、厚さ4mm、38kg／巻	トーチ工法用
	RFメカアンダー	幅1m×長さ8m、厚さ2.5mm、23kg／巻	メカトップ工法
	メカトップF	幅1m×長さ8m、厚さ4mm、38kg／巻	メカトップ工法
	メンテックスF	幅1m×長さ15m、厚さ1mm、18kg／巻	メンテックス工法
	メンテックスS	幅1m×長さ15m、厚さ1mm、18kg／巻	メンテックス工法
アスファルト	RFコート	20kg／缶	平場用
	RFコートV	10kg／缶	立上り用
	アスコート	10kg／缶	
塗膜防水材	MTコート	主剤:6kg／缶、硬化剤:12kg／缶	平場用
	MTコートV	主剤:6kg／缶、硬化剤:12kg／缶	立上り用
	PRコートS	主剤:15kg／缶、硬化剤:15kg／缶	平場用強度ウレタン防水材
	PRコートV	主剤:5kg／缶、硬化剤:5kg／缶	立上り用強度ウレタン防水材
	PRコートB	主剤:6kg／缶、硬化剤:12kg／缶	平場用ウレタン防水材
	PRコートBV	主剤:6kg／缶、硬化剤:12kg／缶	立上り用ウレタン防水材
補強布／増張り材	クロスK	幅1.02m×長さ50m	
	MXテープ	幅100mm×長さ50m	
	Cテープ	幅300mm×長さ16m	
	SKルーフBFテープ	幅20cm×長さ12m、厚さ2mm、2巻入	
	EEテープBFテープ	幅20cm×長さ12m、厚さ2mm、2巻入	
	テープJ	幅100mm×長さ25m、4巻／箱	
	メジテープ	幅10cm×長さ16m、厚さ1mm	
ディスク板	メカディスクC	エアピン用、直径45φ(穴径4.5φ)100枚袋入り アンカーボルト・MFプラグビス用、直径45φ(穴径7.0φ)100枚袋入り	
アンカーボルト	アンカーボルトS	軸径6φ L=40mm 80本／箱	
	アンカーボルトL	軸径6φ L=80mm 100本／箱	
固定用ビス	エアピン	L=30・35・40・45・50・55・60mm 各100本／箱	
	MFプラグビス	4.5φ×50・60mm、500本／箱 5.8φ×75・90・105・120mm、100本／箱	
断熱材	シェンボード	605mm×910mm、厚さ25、30、35、40、50、60mm	
接着剤	USボンドA	20kg／缶、10kg／缶、330mLカートリッジ 24本／箱	
ドレン	マルエス鉛ドレンM	330mm×330mm	
	マルエス銅ドレン	365mm×365mm	
	マルエスアルミドレンキャップ縦	大50～100φ、小30～75φ	ストレーナー
	マルエスアルミドレンキャップ横	横自在:50～100φ、横・小・平、横・小・L:40～65φ	//
シール材	マルチシール	330mLカートリッジ 24本／箱	
	カスタムコーティングS	22kg／缶、11kg／缶、330mLカートリッジ 24本／箱	
仕上塗料	ブレノカラー遮熱	16.3kg／缶入	水性カラー遮熱塗料
	サーモロックカラーMB	16.3kg／缶入	水性カラー暗色系遮熱塗料(受注生産)
	FPクール	18kg／缶入	水性カラー飛び火抑制・遮熱塗料(受注生産)
	ハイクール	16kg／缶入	水性カラー高耐候性遮熱塗料
	MTトップコート	主剤:7kg／缶、硬化剤:7kg／缶	

※1. USプライマーC10は、USプライマーC1とボルトランドセメントを1:0.5～1の割合で混合することによりUSプライマーC10となります。

	製品名	規格	厚さ(mm)	ジョイント		コーナー		キャップ		備考
				外	内	出隅	入隅	右	左	
アルミ金物類	MF-30D	30mm×2m／本	2.0	—	—	—	—	—	—	フラット
	MF-34B	34×6.5mm×2m／本	1.5	○	—	—	—	—	—	
	ML-3010A	30×10mm×2m／本	1.2	—	—	—	—	—	—	L型アングル
	ML-3010B	30×10mm×2m／本	1.5	—	—	—	—	—	—	
	ML-3015D	30×15mm×2m／本	2.0	—	—	—	—	—	—	
	ML-3511A	35×11mm×2m／本	1.2	—	—	—	—	—	—	
	ML-4010A	40×10mm×2m／本	1.2	—	—	—	—	—	—	
	ML-4010D	40×10mm×2m／本	2.0	—	—	—	—	—	—	
	MC-50S	2m／本	—	—	—	○	○	—	—	壁用(EPTゴム付)
	MC-55S	3m／本	1.4	—	○	○	○	—	—	
	MC-55WS	3m／本	1.4	—	○	○	○	—	—	
	MKN-49A	2m／本	1.2	—	○	○	○	○	○	壁用
	MKN-82A	2m／本	1.2	—	○	○	○	○	○	
	MK-54A	2m／本	1.2	—	○	○	○	○	○	
	MK-87B	2m／本	1.5	—	○	○	○	○	○	
	MK-112B	2m／本	1.5	—	○	○	○	○	○	
	MKI-48A	2m／本	1.2	○	—	○	○	—	—	壁用(特殊)
	MT-40C	40×70mm×2m／本	1.8	—	○	○	○	—	—	天端用
	MT-50BC	50×50mm×2m／本	1.7	—	○	○	○	—	—	
	MT-55D	55×110mm×2m／本	2.0	○	○	○	○	—	—	
	MT-42BU	42×65mm×2m／本	1.5	○	—	○	○	—	—	
	MT-42BS	42×65mm×2m／本	1.5	○	○*	○	○	—	—	
	MT-61BS(キャップ付)	61×72.5mm×2m／本	1.5	○	—	○	○	—	—	
	MT-40BS	40×70mm×2m／本	1.5	○*	○	○	○	—	—	
	MT-40DS	40×70mm×2m／本	2.0	○	○	○	○	—	—	
	MT-50AS	50×73mm×2m／本	1.2	—	○	○	○	—	—	
	MT-70BS	70×100mm×2m／本	1.5	—	○	○	○	—	—	
	MT-110D	110×55mm×2m／本	2.0	○	○	○	○	—	—	
	MT-50AB	H50mm 68×65mm	1.3	○	—	○	○	—	—	天端用(特殊)

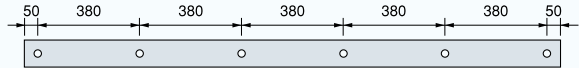
※ジョイント板の取扱いはシルバーのみです。

●製品発注に関する注意事項

アルミ水切はMT-61BSを除き、全てビス穴無しで納材されます。ビス穴が必要な場合は発注時に必ず「ビス穴有り」と明記し「穴数」「穴径」※「穴ピッチ」「端からの距離」をご指定ください。(下図参照)

【穴アケ参考ピッチ】※穴径は4.5φ・5φ・5.5φ・6φ・6.5φの5種類から選択可能です。

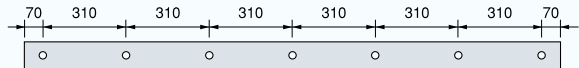
●6穴@380mm(端から50mm)



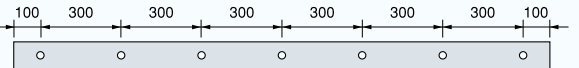
●6穴@360mm(端から100mm)



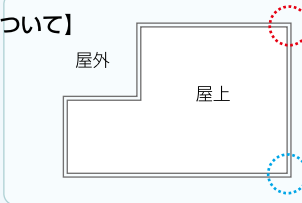
●7穴@310mm(端から70mm)



●7穴@300mm(端から100mm)



【役物回りについて】



●壁用水切の出隅・入隅コーナーについて

「出隅コーナーが1か所」「入隅コーナーが5か所」となります。(屋上から屋外を見る方向)

●天端・フラット笠木の出隅・入隅コーナーについて

「出隅コーナーが5か所」「入隅コーナーが1か所」となります。(屋外から屋上を見る方向)

●各種エンドキャップ

青○部は「エンドキャップ右」赤○部は「エンドキャップ左」となります。(屋上から屋外を見る方向)

m e m o

初回点検

継続点検

